

淀川鳥獸保護区

鳥獸保護区更新調査業務
報告書

令和4年度

大阪府環境農林水産部動物愛護畜産課

目次

1. 調査の目的.....	1
2. 調査区域及び調査対象.....	1
3. 調査内容.....	1
4. 調査地の概要及び環境.....	2
5. 調査方法.....	3
6. 調査範囲・調査地点.....	4
7. 調査結果.....	5
8. まとめ.....	28
9. 参考文献.....	39

1. 調査の目的

この調査は、大阪府が指定した既存鳥獣保護区のうち、淀川鳥獣保護区の存続期間の更新等についての検討資料とするため、その地域における野生鳥獣の生息状況など地域の自然環境に関する基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査区域及び調査対象

淀川鳥獣保護区に生息する野生鳥獣等を調査対象とする。淀川鳥獣保護区の範囲を図 2-1 に示す。



図 2-1 淀川鳥獣保護区の範囲

3. 調査内容

現地調査及び既存データの整理により、下記の事項を把握する。

- ・ 鳥獣生息状況（リスト作成）、生息密度、特色
- ・ 利用状況（施設利用者数など）

4. 調査地の概要及び環境

淀川鳥獣保護区は、京都府との府境から南西に流れる淀川の左右岸堤防から河口部を含む区域である。保護区の面積は約 2,500ha であり、保護区の核となる淀川は、全国 7 位の流域面積 8,240 km²を有する西日本で最大の河川である。水量は豊富で、保護区の上流側では、比較的流速が早いですが、全体としては豊富な水量がゆるやかな流れとなっている。淀川大堰で流れの大部分が毛馬閘門へ向かい、大阪市街を運河状に流下する大川に入る。淀川大堰より下流側は、1896 年に公布された河川法に基づく淀川改良工事によって、旧中津川から開削された新淀川である。新淀川は潮汐の影響を受ける汽水の水域であり、西淀川付近以下は河口部分と変わらない細長い入江状態で、干潮時には干潟が出現する。

枚方大橋から下流の両岸には明治期、河川流心の流速を上げて堆積を減らし、水深を深くして外輪船などが航行できるようにするための「ケレップ」と呼ばれる T 字型の構造物が施工されている。土砂はこの構造に堆積し、残った水域が河川とつながる浅い池「ワンド」として、随所に形成された。ワンドはイタセンバラをはじめとする在来の魚類相の貴重な生息地となっているが、ブラックバス等の外来魚の影響により在来魚類等の生息が脅かされている。

河川敷は広くゴルフ場や道路、運動公園として整備され、その面積はほぼ 50%に近い。残る未利用地にはヨシやセイタカヨシ、オギの群落が発達し、特に鶴殿、豊里地区、城北地区、中津付近にまとまったヨシ原が見られる。特に鶴殿のヨシ原は、まとまった面積として他より格段に大きく、「大阪みどりの百選」としても注目され、毎年 2 月に火入れをする管理も続けられているほか、近年では河川敷を切り下げて低くし、健全なヨシ原を維持する試みがなされている。

汽水域、ワンド群、鶴殿はいずれも大阪府レッドリスト 2014 における生物多様性ホットスポットの A ランクに選定されており、淀川鳥獣保護区は大阪府における生物多様性の保全上、最も重要な地域を含む保護区といえる。

一方、地域における利用状況としては、河口から京都府の三川合流点までの 37km 約 1,216ha に及ぶ河川敷が淀川河川公園として管理されており、40 地区 241.17ha（令和 5 年 2 月現在）が沿川住民を始めとする市民の憩いの場として開園している。河川公園全体では、ここ 10 年間程の間、年間約 600 万人程度に利用されており、中でも淀川資料館や枚方宿に隣接し、球戯場やコンサート会場などの施設を有する枚方地区では年間 35 万人の利用がある。また、大阪の都心に位置する西中島地区は、近年バーベキュー場としての利用が盛んで、年間 29 万人の利用がある。

参考：令和 3 年 6 月、淀川河川公園整備・管理運営プログラム、国土交通省近畿地方整備局

https://www.kkr.mlit.go.jp/yodogawa/use/park/bd083b0000005njp-att/program_202106.pdf

平成 25 年、淀川鳥獣保護区 鳥獣保護区指定調査報告書、大阪府環境農林水産部動物愛護畜産課、

平成 29 年、淀川河川水辺の国勢調査（鳥類）業務 報告書、国土交通省淀川河川事務所

5. 調査方法

調査は、現地調査および表 5-1 に示す文献による文献調査を実施した。

現地調査は、ラインセンサス法と定点観察、任意観察を実施した。ラインセンサス法では、調査ルートを約 2km/h の速度で歩き、片側 25m 両側合わせて 50m の範囲の鳥獣を記録した。調査ルートは、下流部右岸の十三大橋上流側から長良橋に至る R1 (2.29km)、上流部右岸の鵜殿のヨシ原に沿って歩くルート R2 (2.15km) を設定した。定点観察では、調査定点に 30 分間滞在し、確認された鳥類を記録した。調査地点は中央付近左岸の八雲地区の P1、桧尾川合流付近の河川敷を見渡す P2 の 2 地点を設定した。各ルート及び定点の位置は図 6-1 に示すとおりである。任意観察では、ラインセンサス法、定点観察法ではとらえにくい地域を中心に探索した。主な対象地は福港、海老江、城北わんど、芥川河口、前島、磯島等である。調査時期は、繁殖期、秋の渡り期及び越冬期とした。

確認された種から重要種を抜粋した。重要種の選定基準は表 5-2 に示すとおりである。

表 5-1 参考文献・参照資料

文献 No.	文献・情報名	発行または実施年・発行者
文献 1	淀川河川水辺の国勢調査(鳥類)業務報告書	平成 29 年・国土交通省淀川河川事務所
文献 2	令和 3 年度 淀川河川水辺の国勢調査(両生類他)業務報告書	令和 4 年・国土交通省淀川河川事務所
文献 3	淀川汽水域干潟現況調査業務報告書(公開用)	令和 4 年・国土交通省淀川河川事務所
文献 4	枚方ふるさといきもの調査報告書	平成 31 年・枚方市
文献 5	淀川・枚方淀川・矢倉海岸定例探鳥会出現鳥記録	平成 24 年～令和 4 年・日本野鳥の会大阪支部
文献 6	大阪府鳥類目録 2016	平成 29 年・日本野鳥の会大阪支部
文献 7	枚方市野鳥目録 淀川の野鳥の記録 2007-2021	令和 4 年・枚方野鳥の会(藤原和泉)
文献 8	2021 年度 枚方いきもの調査会 調査報告書第 20 号	令和 4 年・枚方いきもの調査会

表 5-2 重要種の選定基準

選定基準
絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)
環境省レッドリスト 2020(環境省 RL)
大阪府レッドリスト 2014(大阪府 RL)

6. 調査範囲・調査地点

調査範囲は淀川鳥獣保護区全域とした。ラインセンス法に用いたルート (R1・R2) 及び定点観察に用いた地点 (P1・P2) は、図 6-1 に示すとおりである。

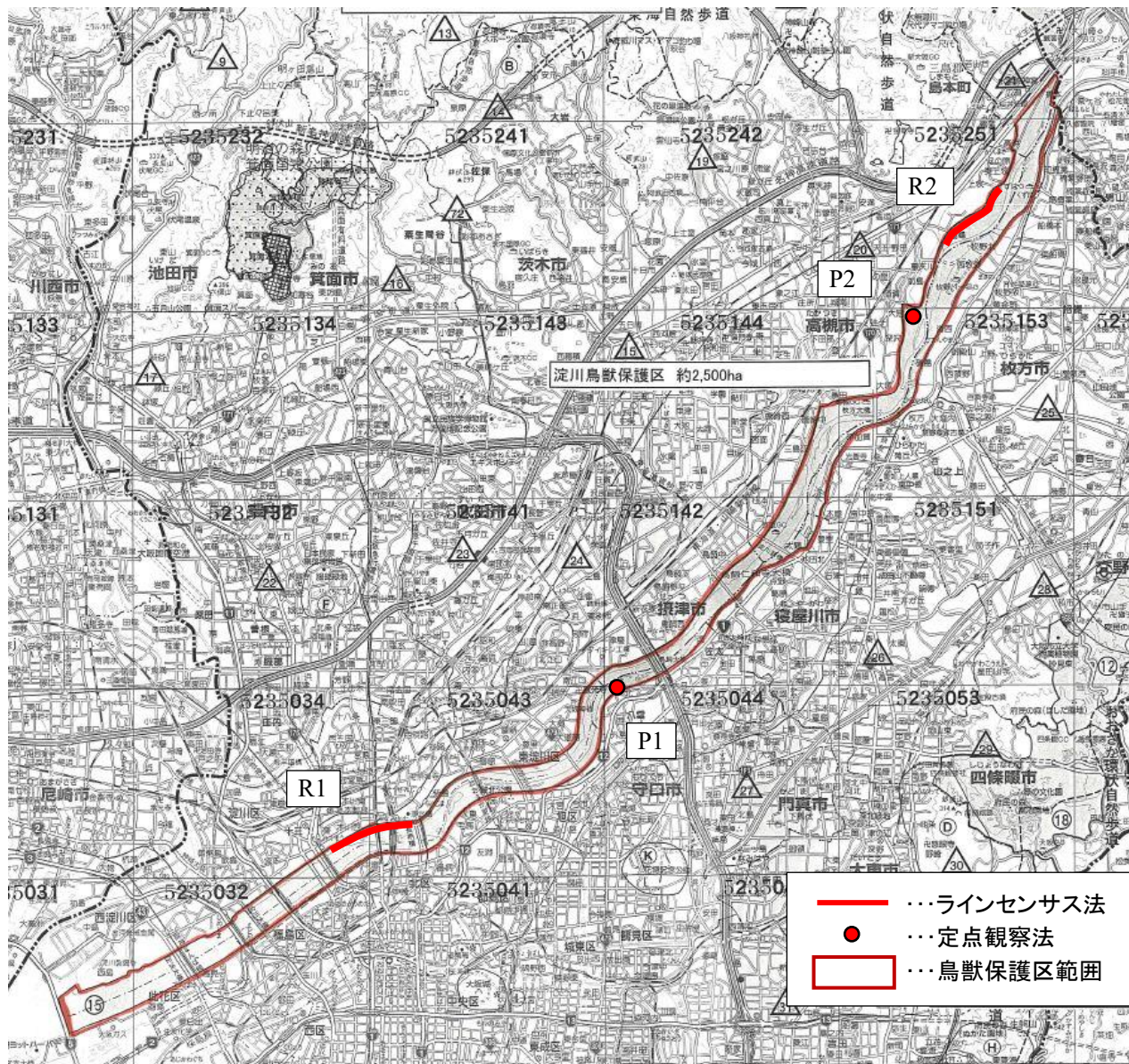


図 6-1 調査地点

7. 調査結果

7-1 現地調査結果

① 調査時期・天候・時間

現地調査時期、天候、調査時間を表 7-1 に示す。

表 7-1 調査時期・天候・調査時間

調査時期	調査日時	天候	調査時間	
繁殖期	令和 4 年 6 月 19 日	曇りのち晴れ	R1	6:25~7:25
			R2	6:15~7:15
			P1	11:17~11:47
			P2	10:10~10:40
			任意	7:15~13:00
秋期	令和 4 年 10 月 2 日	晴れ	任意	9:45~12:50
	令和 4 年 10 月 8 日	曇り	R2	6:56~7:48
			任意	7:48~9:00
	令和 4 年 10 月 9 日	曇り	R1	7:11~7:59
			P1	9:49~10:19
			P2	11:42~12:12
			任意	8:00~8:30 10:00~12:32
越冬期	令和 5 年 1 月 3 日	晴れ	R1	7:17~9:23
			R2	7:28~8:49
			P1	11:37~12:07
			P2	10:21~10:52
			任意	8:50~15:00
	令和 5 年 1 月 17 日	晴れ	任意	8:30~14:00

② 鳥類確認種

現地調査の結果、13目33科76種の鳥類を確認した。確認種の一覧を表に示す。

現地調査で確認した鳥類の渡り区分は、留鳥39種、夏鳥5種、冬鳥25種、旅鳥4種であり、留鳥51%、夏鳥7%、冬鳥33%、旅鳥5%と、一年を通してみられる留鳥が半数を占めた(図7-1)。なお、渡り区分の分類は、「大阪府鳥類目録2016」(2017年3月31日,日本野鳥の会大阪支部)に従った。

なお、大阪府鳥類目録で旅鳥(一部夏鳥)とされているコサメビタキについては、秋の渡り期にのみ確認されたことから旅鳥として扱った。

渡り区分	種数	割合
留鳥	39種	51%
夏鳥	5種	7%
冬鳥	25種	33%
旅鳥	4種	5%
移入種	3種	4%

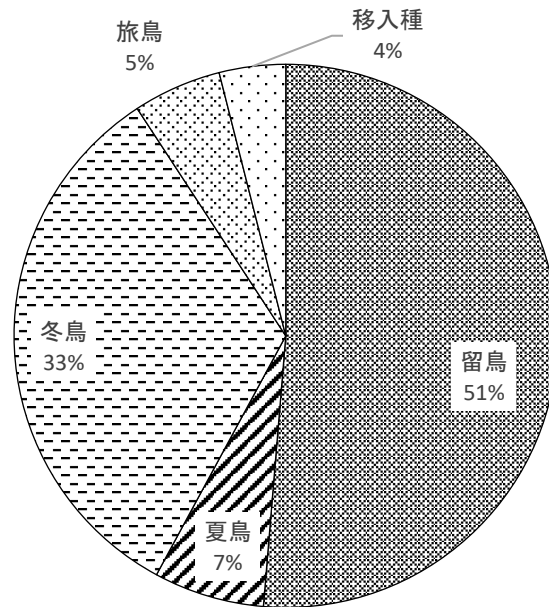


図 7-1 現地調査 渡り区分の内訳

表 7-2 (1) 現地調査 鳥類確認種

No.	目名	科名	学名	種名	繁殖期	秋期	越冬期	渡り区分
1	キジ	キジ	キジ	<i>Phasianus colchicus</i>	○	○	○	留鳥
2	カモ	カモ	オカヨシガモ	<i>Anas strepera</i>			○	冬鳥
3			ヒドリガモ	<i>Anas penelope</i>			○	冬鳥
4			マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i>			○	冬鳥
5			カルガモ	<i>Anas zonorhyncha</i>	○	○	○	留鳥
6			コガモ	<i>Anas crecca</i>			○	冬鳥
7			ホシハジロ	<i>Aythya ferina</i>			○	冬鳥
8			キンクロハジロ	<i>Aythya fuligula</i>			○	冬鳥
9			スズガモ	<i>Aythya marila</i>			○	冬鳥
10			カワアイサ	<i>Mergus merganser</i>			○	冬鳥
11			カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ	<i>Podiceps cristatus</i>		
12	ハジロカイツブリ	<i>Podiceps nigricollis</i>					○	冬鳥
13	ハト	ハト	キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i>	○	○	○	留鳥
14	カツオドリ	ウ	カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>	○	○	○	留鳥
15	ペリカン	サギ	ササゴイ	<i>Butorides striata</i>	○			夏鳥
16			アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>	○	○	○	留鳥
17			ダイサギ	<i>Ardea alba</i>	○	○	○	留鳥
18			コサギ	<i>Egretta garzetta</i>	○	○	○	留鳥
19	ツル	クイナ	ヒクイナ	<i>Porzana fusca</i>	○		○	留鳥
20			オオバン	<i>Fulica atra</i>			○	○

表 7-2 (2) 現地調査 鳥類確認種

No.	目名	科名	学名	種名	繁殖期	秋期	越冬期	渡り区分
21	チドリ	チドリ	ケリ	<i>Vanellus cinereus</i>			○	留鳥
22			イカルチドリ	<i>Charadrius placidus</i>	○			留鳥
23			コチドリ	<i>Charadrius dubius</i>	○			留鳥
24		シギ	イソシギ	<i>Actitis hypoleucos</i>		○	○	留鳥
25		カモメ	ユリカモメ	<i>Larus ridibundus</i>			○	冬鳥
26			ウミネコ	<i>Larus crassirostris</i>	○			留鳥
27			セグロカモメ	<i>Larus argentatus</i>		○	○	冬鳥
28	タカ	ミサゴ	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>		○	○	留鳥
29		タカ	トビ	<i>Milvus migrans</i>	○	○	○	留鳥
30			ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i>			○	冬鳥
31			オオタカ	<i>Accipiter gentilis</i>		○	○	留鳥
32			ノスリ	<i>Buteo buteo</i>			○	冬鳥
33	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	<i>Alcedo atthis</i>	○	○	留鳥	
34	キツツキ	キツツキ	アリスイ	<i>Jynx torquilla</i>		○		冬鳥
35			コゲラ	<i>Dendrocopos kizuki</i>	○			留鳥
36	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	<i>Falco tinnunculus</i>	○	○	○	留鳥
37			ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i>	○	○		留鳥
38	スズメ	モズ	モズ	<i>Lanius bucephalus</i>	○	○	○	留鳥
39		カラス	ハンボソガラス	<i>Corvus corone</i>	○	○	○	留鳥
40			ハンブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>	○	○	○	留鳥
41			シジュウカラ	シジュウカラ	<i>Parus minor</i>	○	○	○
42		ヒバリ	ヒバリ	<i>Alauda arvensis</i>	○	○	○	留鳥
43		ツバメ	ツバメ	<i>Hirundo rustica</i>	○	○		夏鳥
44			イワツバメ	<i>Delichon dasypus</i>	○		○	夏鳥
45		ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>	○	○	○	留鳥
46		ウグイス	ウグイス	<i>Cettia diphone</i>	○	○	○	留鳥
47		エナガ	エナガ	<i>Aegithalos caudatus</i>	○		○	留鳥
48		ムシクイ	オオムシクイ	<i>Phylloscopus examinandus</i>		○		旅鳥
49		メジロ	メジロ	<i>Zosterops japonicus</i>	○		○	留鳥
50		ヨシキリ	オオヨシキリ	<i>Acrocephalus orientalis</i>	○			夏鳥
51		セッカ	セッカ	<i>Cisticola juncidis</i>	○	○		留鳥
52		ムクドリ	ムクドリ	<i>Spodiopsar cineraceus</i>	○	○	○	留鳥
53		ヒタキ	シロハラ	<i>Turdus pallidus</i>			○	冬鳥
54			ツグミ	<i>Turdus naumanni</i>			○	冬鳥
55			ジョウビタキ	<i>Phoenicurus auroreus</i>			○	冬鳥
56			ノビタキ	<i>Saxicola torquatus</i>		○		旅鳥
57			エゾビタキ	<i>Muscicapa griseisticta</i>		○		旅鳥
58			コサメビタキ	<i>Muscicapa dauurica</i>		○		旅鳥
59			キビタキ	<i>Ficedula narcissina</i>		○		夏鳥
60			スズメ	スズメ	<i>Passer montanus</i>	○	○	○
61	セキレイ	キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i>		○		留鳥	
62		ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>	○	○	○	留鳥	
63		セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>	○	○	○	留鳥	
64		タヒバリ	<i>Anthus rubescens</i>			○	冬鳥	
65	アトリ	アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i>			○	冬鳥	
66		カワラヒワ	<i>Chloris sinica</i>	○	○	○	留鳥	
67		ベニマシコ	<i>Uragus sibiricus</i>			○	冬鳥	
68		シメ	<i>Coccothraustes coccothraustes</i>			○	冬鳥	
69		イカル	<i>Eophona personata</i>			○	留鳥	
70	ホオジロ	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>	○	○	○	留鳥	
71		カシラダカ	<i>Emberiza rustica</i>			○	冬鳥	
72		アオジ	<i>Emberiza spodocephala</i>			○	冬鳥	
73		オオジュリン	<i>Emberiza schoeniclus</i>			○	冬鳥	
74	(キジ)	(キジ)	コジュケイ	<i>Bambusicola thoracicus</i>		○	移入種	
75	(ハト)	(ハト)	ドバト	<i>Columba livia</i>	○	○	○	移入種
76	(スズメ)	(ムクドリ)	ハッカチョウ	<i>Acridotheres cristatellus</i>	○	○	○	移入種
合計	13 目	33 科	76 種		38 種	41 種	58 種	—

・分類及び配列は「日本鳥類目録 改訂第7版」(2012年, 日本鳥学会)に従った。

・渡り区分の分類は、「大阪府鳥類目録2016」(2017年3月31日, 日本野鳥の会大阪支部)に従った。

③ 鳥類の繁殖状況

繁殖期調査において確認された種について、全国鳥類繁殖分布調査における繁殖ランクに準じて繁殖可能性を判定した。

繁殖期調査では 38 種が確認され、このうち島嶼などでコロニーを作って繁殖するウミネコを除く 37 種については、いずれも繁殖ランク C に該当し、調査範囲及びその周辺で繁殖している可能性が認められた。このうち 18 種は現地調査において繁殖を示唆する行動が確認され（繁殖ランク B）、調査範囲内で繁殖している可能性が高いと考えられた。なお、本調査においては、繁殖ランク A（繁殖確認）に該当する観察記録は得られなかった。繁殖の可能性のある種の内訳は表 7-3 に示すとおりである。

表 7-3 鳥類の繁殖状況

ランク	観察コード	観察事項	該当種
A (繁殖を確認)	該当なし	—	—
B (繁殖の可能性が高い) 18 種	30	その種が営巣し得る環境で繁殖期に、その種のさえずり（キツツキ類のドラミングを含める）を聞いた。ただし、その鳥が冬鳥、旅鳥かもしれない時は除く	キジ、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、ウグイス、オオヨシキリ、セッカ、ホオジロ
	37	成鳥がヒナへの餌を運搬しているが、巣が周囲にあるかどうかわからない	ムクドリ
	39	かなり移動可能と思われる巣立ちヒナを見た	カワセミ、チョウゲンボウ、エナガ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ
	40	家族群を見た	モズ、ハシブトガラス、ハッカチョウ
C (繁殖の可能性あり) 19 種	50	その種が営巣し得る環境で繁殖期にその種を確認したが、他には繁殖の兆候が認められない。ただし冬鳥または旅鳥は過去にその地方で繁殖の記録があるもの	カルガモ、キジバト、カワウ、ササゴイ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、ヒクイナ、イカルチドリ、コチドリ、トビ、コゲラ、ハヤブサ、ハシボソガラス、イワツバメ、ヒヨドリ、メジロ、セグロセキレイ、ドバト

※全国鳥類繁殖分布調査における繁殖ランク（2014, NPO 法人バードリサーチ <https://bird-atlas.jp/map.html#yoshi>）を参照し、該当箇所を抜粋して作成した。

④ ラインセンサス法による鳥類の生息個体数

ラインセンサスによる調査の結果調査の結果、12目30科54種1693羽の鳥類を確認した。各ルートにおける調査回毎の個体数を表7-4に示す。R1では43種1007羽、R2では36種686羽を確認した。ラインセンサスでは市街地が近いことを反映して、人家に営巣するムクドリ、スズメといった都市鳥が周年多く確認されたが、ドバト、そして都心部のR1ではハッカチョウといった、群性の高い移入種の個体数がこれに匹敵した。河川敷を代表する鳥として、オオヨシキリ、オオジュリンといったヨシ原の鳥では、生息環境がルートの範囲から離れた箇所にあたっているため、個体数の上で大きな値にはならなかった。また、セッカやヒバリといった草地の鳥は、ルート付近の低茎草地が主たる生息環境であるにもかかわらず、ルート内で1羽～4羽と非常に少なかった。

表 7-4 調査回・ルート毎の確認個体数

No.	目名	科名	種名	R1				R2				総計		
				繁殖期	秋期	越冬期	計	繁殖期	秋期	越冬期	計			
1	キジ	キジ	キジ					1	1		2	2		
2	カモ	カモ	オカヨシガモ			8	8					8		
3			ヒドリガモ			4	4					4		
4			マガモ			7	7					7		
5			カルガモ			2	4	6	8	5		13	19	
6			コガモ				2	2					2	
7			ホシハジロ				18	18					18	
8			キンクロハジロ				12	12					12	
9			カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ			10	10					10
10	ハジロカイツブリ					1	1					1		
11	ハト	ハト	キジバト		1	4	5	4	2	9	15	20		
12	カツオドリ	ウ	カワウ	8		70	78					78		
13	ペリカン	サギ	アオサギ	1		1	2	1			1	3		
14			ダイサギ		1	2	3	1				1	4	
15	ツル	クイナ	ヒクイナ			1	1	1			1	2		
16			オオバン			38	38						38	
17	チドリ	チドリ	ケリ							3	3	3		
18		シギ	イソシギ			1	1					1		
19		カモメ	ユリカモメ			16	16					16		
20	タカ	タカ	トビ						1		1	1		
21			ハイタカ								1	1	1	
22	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ						1		1	1		
23	キツツキ	キツツキ	アリスイ		1		1					1		
24	スズメ	モズ	モズ	4	5	3	12		9	3	12	24		
25		カラス	ハシボソガラス			8	8	8	4	2	14	22		
26			ハシブトガラス	3	6	1	10	2	9	4	15	25		
27		シジュウカラ	シジュウカラ			1	1	1	2	2	5	6		
28		ヒバリ	ヒバリ			1	1	2		1	3	4		
29		ツバメ	ツバメ		7	2		9	15	5		20	29	
30			イワツバメ		9			9					9	
31		ヒヨドリ	ヒヨドリ			26	29	55	5	12	27	44	99	
32		ウグイス	ウグイス		2	1	9	12	15	12	9	36	48	
33		エナガ	エナガ								10	10	10	
34		ムシクイ	オオムシクイ			1		1		2		2	3	
35		ヨシキリ	オオヨシキリ		11			11	16			16	27	
36		セッカ	セッカ		4	1		5	2			2	7	
37		ムクドリ	ムクドリ		57	33	90	180	29	3	1	33	213	
38		ヒタキ	シロハラ				6	6					6	
39			ツグミ				6	6			7	7	13	
40			ジョウビタキ				1	1			3	3	4	
41			コサメビタキ								1		1	1
42			キビタキ								4		4	4
43			スズメ	スズメ		21	2	16	39	64	2	28	94	133
44		セキレイ	キセキレイ							1		1	1	
45	ハクセキレイ			1	5	2	8		3	3	6	14		
46	セグロセキレイ									1		1	1	
47	アトリ	アトリ								1	1	1		
48		カワラヒワ				4	4	15	5	91	111	115		
49		ベニマシコ				4	4					4		
50	ホオジロ	ホオジロ				6	6	11	11	3	25	31		
51		アオジ				10	10			9	9	19		
52		オオジュリン					23	23				23	23	
53	(ハト)	(ハト)	ドバト	19	152	25	196	142	5	25	172	368		
54	(スズメ)	(ムクドリ)	ハッカチョウ	21	15	141	177					177		
	12 目	30 科	54 種	種数	14	16	37	43	20	23	21	36	54	
				個体数	168	254	585	1007	343	101	242	686	1693	

⑤ 定点観察法による鳥類の生息個体数

定点観察法による調査の結果、11目28科44種405羽の鳥類を確認した。各地点における調査回毎の個体数を表7-5に示す。P1では35種265羽、P2では31種140羽を確認した。河川敷は見通しがきくため、大型で群性の高い種の確認数が多くなる傾向がある。水域に面したP1では繁殖期のウミネコ、越冬期のカモ類やオオバンの数が突出したほか、渡りのヒヨドリの群れ、秋冬のスズメの群れ、群れで行動するムクドリやドバトの動向が結果を大きく左右している。腰を据えて観察するのでないと発見が難しいハイタカのような猛禽類や、エゾビタキなど渡り途中の小鳥も確認された。

表 7-5 調査回・ルート毎の確認個体数

No.	目名	科名	種名	P1				P2				総計	
				繁殖期	秋期	越冬期	計	繁殖期	秋期	越冬期	計		
1	キジ	キジ	キジ					2			2	2	
2	カモ	カモ	カルガモ						1		1	1	
3			コガモ			9	9					9	
4			ホシハジロ			31	31					31	
5			キンクロハジロ				54	54					54
6	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ			5	5					5	
7	ハト	ハト	キジバト		3	1	4		2		2	6	
8	カツオドリ	ウ	カワウ	1		1	2		9		9	11	
9	ペリカン	サギ	ササゴイ	1			1					1	
10			アオサギ						2		2	2	
11			ダイサギ							1	1	2	2
12	ツル	クイナ	オオバン			20	20					20	
13	チドリ	チドリ	コチドリ					3			3	3	
14		カモメ	ウミネコ	12			12					12	
15	タカ	タカ	トビ			1	1	1			1	2	
16			ハイタカ								1	1	1
17	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ		1		1		1		1	2	
18	スズメ	モズ	モズ		3		3		1	1	2	5	
19		カラス	ハシボソガラス		3		3	3	4		7	10	
20			ハシブトガラス		1	2	3	3	1	5	6	9	
21		シジュウカラ	シジュウカラ			1	1	1			1	2	
22		ヒバリ	ヒバリ		1		1	1	2		2	3	
23		ツバメ	ツバメ		2		2	2	1	1	2	4	
24			イワツバメ		5		5	5				5	
25		ヒヨドリ	ヒヨドリ		1	12	4	17		15	2	17	34
26		ウグイス	ウグイス		3	1	1	5	2		1	3	8
27		ムシクイ	オオムシクイ			1		1		1		1	2
28		メジロ	メジロ				5	5					5
29		ヨシキリ	オオヨシキリ		3			3	2			2	5
30		セッカ	セッカ		1			1	2			2	3
31	ムクドリ	ムクドリ		3	24		27					27	
32	ヒタキ	シロハラ				1	1					1	
33		ツグミ				1	1			4	4	5	
34		ジョウビタキ				1	1					1	
35		エゾビタキ				1	1					1	
36	スズメ	スズメ	キビタキ		3		3		2		2	5	
37			スズメ		5	3	3	11	3		40	43	54
38	セキレイ	セキレイ	キセキレイ		1		1		1		1	2	
39			ハクセキレイ				1	1	1	1	1	3	4
40	アトリ	カワラヒワ						5	1		6	6	
41	ホオジロ	ホオジロ	ホオジロ					1		1	2	2	
42			カシラダカ								1	1	1
43			アオジ				1	1			3	3	4
44	(ハト)	(ハト)	ドバト		5	22	27		6		6	33	
	11目	28科	44種	種数	13	14	19	35	14	17	12	31	44
				個体数	43	79	143	265	29	50	61	140	405

⑥ 重要種

現地調査で確認された鳥類のうち、重要種に該当する種は5目12科16種であった。確認された重要種を表7-6、確認位置を図7-2に示す。

今回の調査で、種の保存法において国内希少野生動植物種に指定されるハヤブサが確認された。また、環境省レッドリスト記載種が6種、大阪府レッドリスト記載種が13種確認された。重要種のうち、繁殖期に確認されたものはヒクイナ、イカルチドリ、コチドリ、ハヤブサ、ヒバリ、オオヨシキリ、セッカの7種であった。

表 7-6 確認された重要種

No.	目名	科名	種名	学名	種の保存法	環境省 RL	大阪府 RL
1	ツル	クイナ	ヒクイナ	<i>Porzana fusca</i>		NT	VU
2	チドリ	チドリ	ケリ	<i>Vanellus cinereus</i>		DD	NT
3			イカルチドリ	<i>Charadrius placidus</i>			VU
4			コチドリ	<i>Charadrius dubius</i>			NT
5			シギ	イソシギ	<i>Actitis hypoleucos</i>		
6		タカ	ミサゴ	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>		NT
7	タカ		オオタカ	<i>Accipiter gentilis</i>		NT	NT
8			ノスリ	<i>Buteo buteo</i>			NT
9	ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i>	国内希少	VU	
10	スズメ	ヒバリ	ヒバリ	<i>Alauda arvensis</i>			NT
11		ムシクイ	オオムシクイ	<i>Phylloscopus examinandus</i>		DD	
12		ヨシキリ	オオヨシキリ	<i>Acrocephalus orientalis</i>			NT
13		セッカ	セッカ	<i>Cisticola juncidis</i>			NT
14		ヒタキ	コサメビタキ	<i>Muscicapa dauurica</i>			VU
15		ホオジロ	カシラダカ	<i>Emberiza rustica</i>			NT
16			オオジュリン	<i>Emberiza schoeniclus</i>			NT
計	5目	12科	16種		1種	6種	13種

種の保存法 レッドリスト 国内希少：国内希少野生動植物種
 VU：絶滅危惧Ⅱ類 絶滅の危険が増大している種
 NT：準絶滅危惧種 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては絶滅危惧に移行する可能性のある種
 DD：情報不足 評価するだけの情報が不足している種

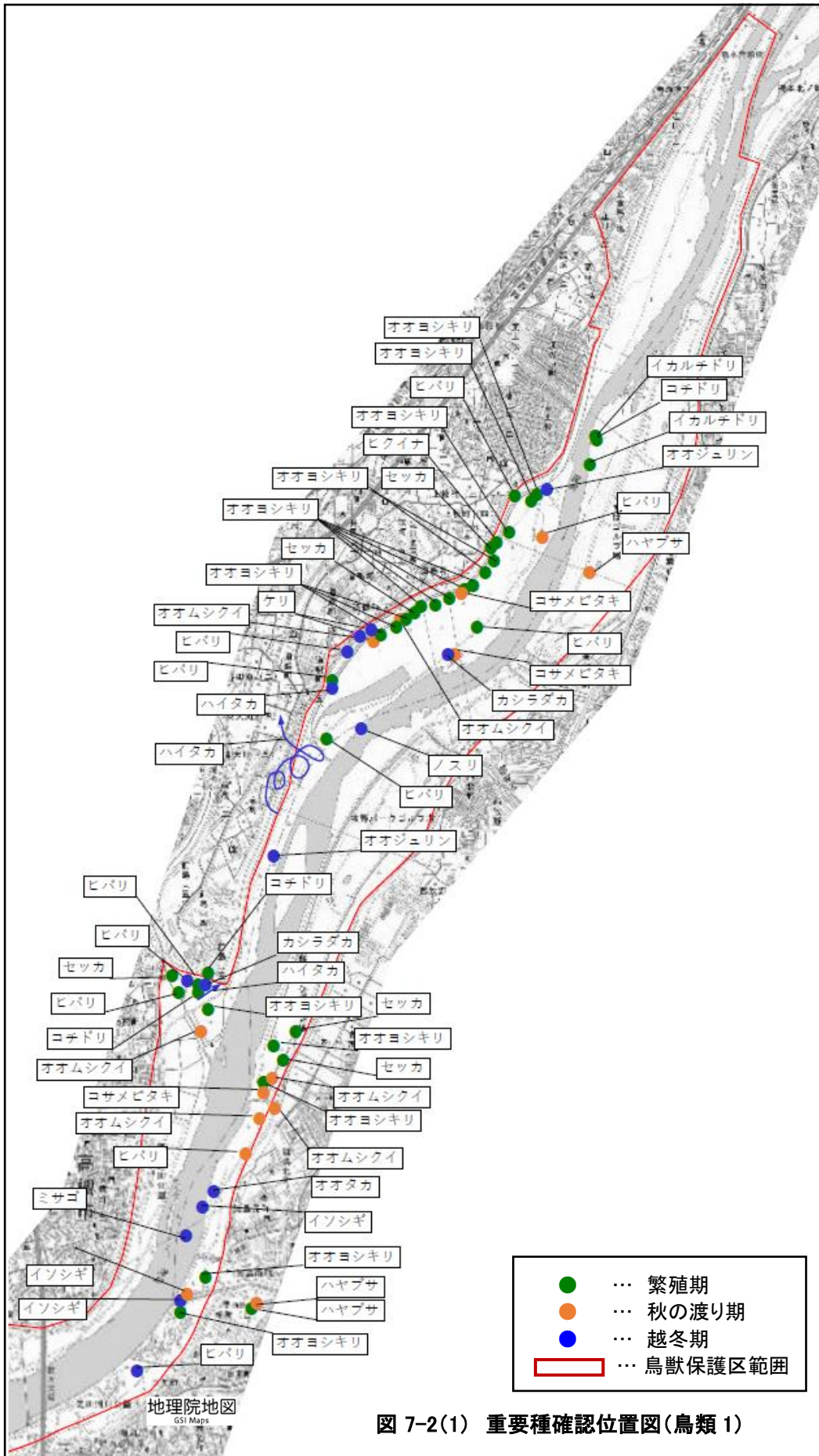


図 7-2(1) 重要種確認位置図(鳥類 1)

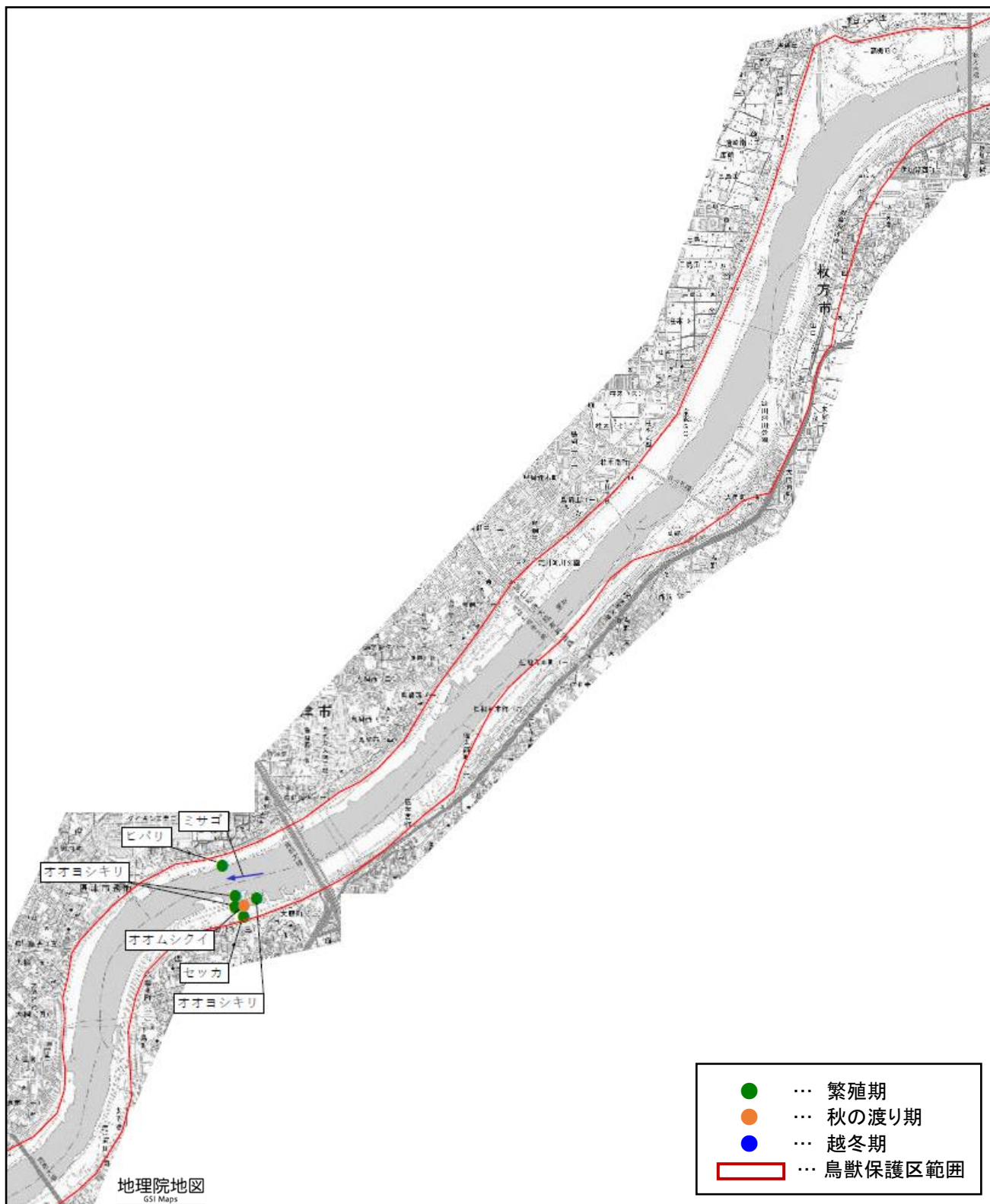


図 7-2 (2) 重要種確認位置図 (鳥類 2)

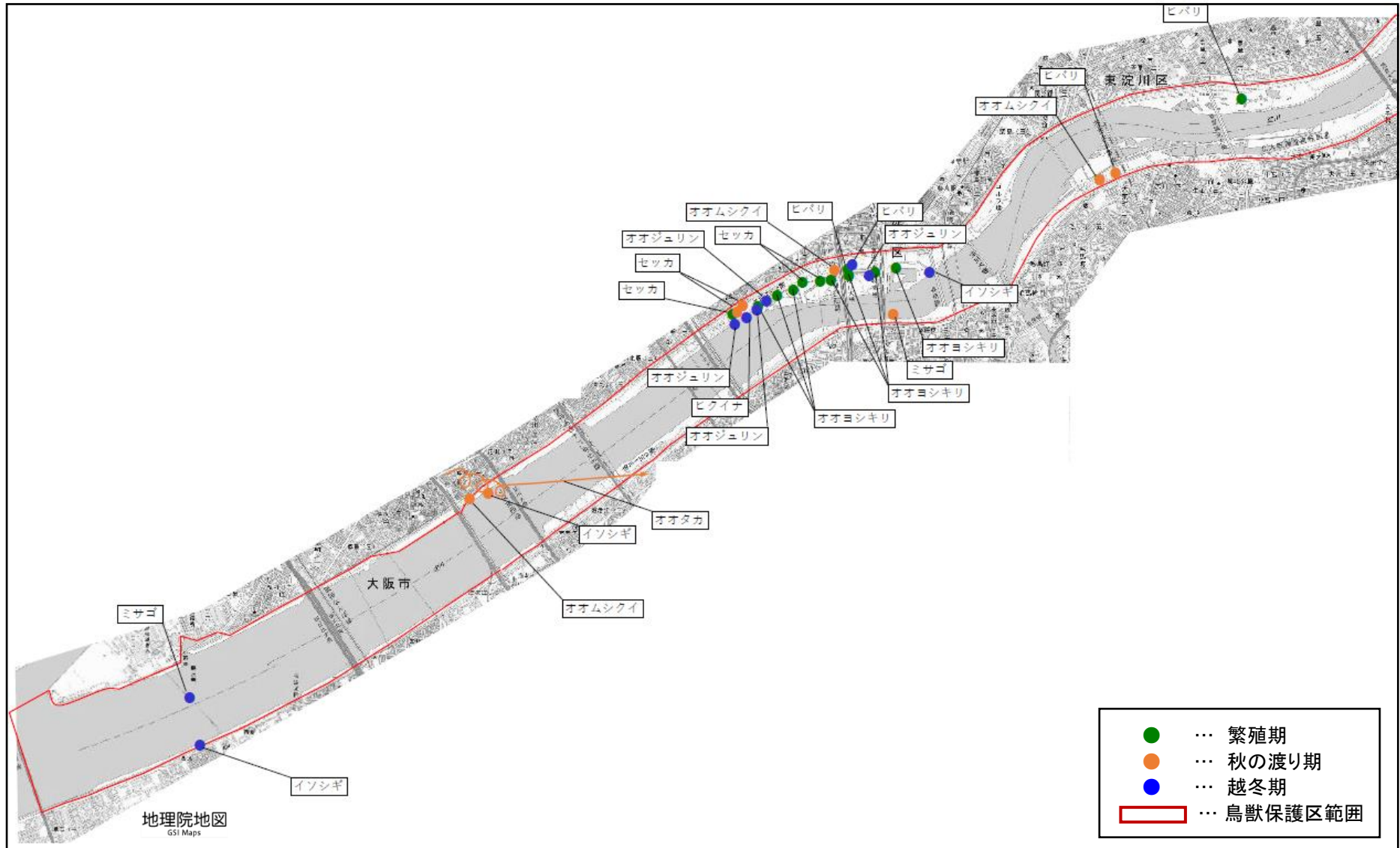


図 7-2 (3) 重要種確認位置図 (鳥類 3)

⑦ 哺乳類確認種

現地調査の結果、2目3科4種の哺乳類を確認した。確認された哺乳類を表 7-7 に示す。なお、学名・分類群・配列は「日本の哺乳類 改定2版」(2008年、東海大学出版会)に従った。

表 7-7 現地調査 哺乳類確認種

No.	目名	科名	種名	学名	確認状況
1	ネコ目	イタチ科	シベリアイタチ	<i>Mustela sibirica</i>	目撃
2		ネコ科	ネコ	<i>Felis catus</i>	目撃
3	ネズミ目	ネズミ科	カヤネズミ	<i>Micromys minutus</i>	巢
4		ヌートリア科	ヌートリア	<i>Myocastor coypus</i>	目撃
合計	2目	3科	4種		

・学名、分類及び配列は「日本の哺乳類 改定2版」(2008年、東海大学出版会)に従った。

⑧ 哺乳類重要種

現地調査で確認された哺乳類のうち、重要種に該当する種はカヤネズミの1目1科1種であった。確認された重要種を表 7-8 に、確認位置を図 7-3 に示す。

表 7-8 確認された重要種

No.	目名	科名	種名	学名	種の保存法	環境省 RL	大阪府 RL
1	ネズミ目	ネズミ科	カヤネズミ	<i>Micromys minutus</i>			NT
計	1目	1科	1種		0種	0種	1種

NT : 準絶滅危惧種 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては絶滅危惧に移行する可能性のある種

7-1 現地調査結果

表 5-1 で示したそれぞれの文献・資料の記載概況を表 7-9 に示す。

表 7-9 文献概要

文献 No.	文献・情報名	文献・情報の内容
文献 1	淀川河川水辺の国勢調査（鳥類）業務報告書（国土交通省淀川河川事務所）	国土交通省が淀川における鳥類の生息実態の把握を目的として実施。全川を通じて 2km おきに設定した調査スポットによるスポットセンサス法を繁殖期と越冬期に実施。感潮域では春季及び秋期にも実施。10 年おきに実施され、最新平成 28 年度の結果を参照した。
文献 2	令和 3 年度 淀川河川水辺の国勢調査（両生類他）業務報告書（国土交通省淀川河川事務所）	国土交通省が淀川における両生類・爬虫類・哺乳類の生息状況の把握を目的として実施。目撃法、フィールドサイン法、無人撮影、各種トラップを用いて四季の調査を実施。支流を含む全 10 ヶ所の調査地点のうち、3 ヶ所が鳥獣保護区に含まれる。10 年おきに実施され、最新令和 3 年度の結果を参照した。
文献 3	淀川汽水域干潟現況調査業務報告書（公開用）（国土交通省淀川河川事務所）	淀川汽水域における生物の生息・生育状況から干潟の現況評価等を行っている。春、秋、冬に各 1 回の干潟の定点調査と、淀川大堰周辺の河川敷で冬季のモニタリング調査を実施。
文献 4	枚方ふるさといきもの調査報告書（枚方市）	枚方市が市域の自然環境の変遷を把握し環境行政の各政策の基礎文献とするために実施している調査。概ね 5 年ごとに自然環境調査が行われ、専門調査、市民調査等により、生態環境の特性の把握や、生物多様性の阻害などの課題の整理が行われている。
文献 5	淀川・枚方淀川・矢倉海岸定例探鳥会出現鳥記録（日本野鳥の会大阪支部）	日本野鳥の会大阪支部にて毎月行われている定例探鳥会の淀川周辺における 2012 年～2022 年の観察鳥類。
文献 6	大阪府鳥類目録 2016（日本野鳥の会大阪支部）	2002 年 4 月～2016 年 3 月までの大阪支部報、むくどり通信に記載された記録から淀川において確認された記録とわかる種を抜粋。
文献 7	枚方市鳥類目録 淀川の野鳥の記録 2007～2021（枚方野鳥の会（藤原和泉））	近日発行予定の枚方市の鳥類目録を、著者の藤原氏にデータとして提供いただいた。2007 年～2021 年の枚方市で記録された鳥が掲載されており、そのうち淀川で確認された種を抜粋した。
文献 8	2021 年度 枚方いきもの調査会調査報告書第 20 号（枚方いきもの調査会）	1 年間の枚方いきもの調査会の活動記録。毎年発行されるもので、直近の記録として最新号を参照し、淀川の記録を抜粋した。

① 鳥類確認種

文献調査の結果、21目 58科 275種の鳥類を確認した。確認種をエラー！参照元が見つかりません。に示す。文献別では、文献1で94種、文献3で68種、文献4で75種、文献5で161種、文献6で246種、文献7で221種、文献8で94種が確認された。

文献調査で確認した鳥類の渡り区分は、留鳥 53種、夏鳥 23種、冬鳥 74種、旅鳥 58種、迷鳥 52種であった（表 7-10、図 7-4）。現地調査とは異なり、冬鳥の占める割合が最も高く、27%であった。旅鳥、迷鳥の割合も高く、全体の21%を旅鳥が占め、19%を迷鳥が占めた。偶発的な飛来や短期間の滞在で渡去してしまう場合が多い旅鳥・迷鳥は、単年度の調査では確認されない場合が多く、集積された文献・資料でのみ確認される種が少ない。なお、渡り区分の分類は、「大阪府鳥類目録 2016」（2017年3月31日、日本野鳥の会大阪支部）に従った。

渡り区分	種数	割合
留鳥	53種	19%
夏鳥	23種	8%
冬鳥	74種	27%
旅鳥	58種	21%
迷鳥	52種	19%
移入種	15種	6%

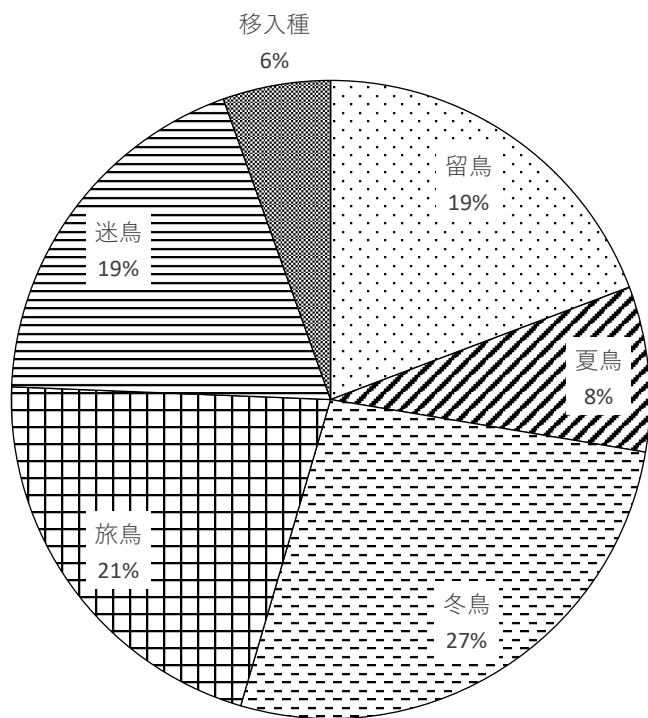


図 7-4 文献調査 渡り区分の内訳

表 7-10 (1) 文献調査 鳥類確認種(1/5)

No.	目名	科名	種名	学名	文献 1	文献 3	文献 4	文献 5	文献 6	文献 7	文献 8	渡り 区分
1	キジ	キジ	ウズラ	<i>Coturnix japonica</i>					○	○		冬鳥
2			キジ	<i>Phasianus colchicus</i>	○		○	○	○	○	○	留鳥
3	カモ	カモ	ヒシクイ	<i>Anser fabalis</i>					○	○		迷鳥
4			マガン	<i>Anser albifrons</i>					○	○		迷鳥
5			コクガン	<i>Branta bernicla</i>					○	○		迷鳥
6			コハクチョウ	<i>Cygnus columbianus</i>					○	○		迷鳥
7			ツクシガモ	<i>Tadorna tadorna</i>				○	○	○		冬鳥
8			オシドリ	<i>Aix galericulata</i>			○		○	○		冬鳥
9			オカヨシガモ	<i>Anas strepera</i>	○	○	○	○	○	○	○	冬鳥
10			ヨシガモ	<i>Anas falcata</i>					○	○	○	冬鳥
11			ヒドリガモ	<i>Anas penelope</i>	○	○	○	○	○	○	○	冬鳥
12			アメリカヒドリ	<i>Anas americana</i>				○	○	○		冬鳥
13			マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i>	○	○	○	○	○	○	○	冬鳥
14			カルガモ	<i>Anas zonorhyncha</i>	○	○	○	○	○	○	○	留鳥
15			ハシビロガモ	<i>Anas clypeata</i>			○	○	○	○		冬鳥
16			オナガガモ	<i>Anas acuta</i>	○			○	○	○		冬鳥
17			シマアジ	<i>Anas querquedula</i>				○	○	○		旅鳥
18			トモエガモ	<i>Anas formosa</i>				○	○	○		冬鳥
19			コガモ	<i>Anas crecca</i>	○	○	○	○	○	○	○	冬鳥
20			アカハシハジロ	<i>Netta rufina</i>					○			迷鳥
21			ホシハジロ	<i>Aythya ferina</i>	○	○	○	○	○	○	○	冬鳥
22			アカハジロ	<i>Aythya baeri</i>				○		○		迷鳥
23			メジロガモ	<i>Aythya nyroca</i>					○			迷鳥
24			クビワキンクロ	<i>Aythya collaris</i>					○			迷鳥
25			キンクロハジロ	<i>Aythya fuligula</i>	○	○	○	○	○	○	○	冬鳥
26			スズガモ	<i>Aythya marila</i>	○	○		○	○	○		冬鳥
27			シノリガモ	<i>Histrionicus histrionicus</i>					○	○		迷鳥
28			ピロードキンクロ	<i>Melanitta fusca</i>				○	○	○		迷鳥
29			クロガモ	<i>Melanitta americana</i>				○	○			冬鳥
30			コオリガモ	<i>Clangula hyemalis</i>					○			迷鳥
31			ホオジロガモ	<i>Bucephala clangula</i>				○	○	○		冬鳥
32			ミコアイサ	<i>Mergellus albellus</i>	○	○	○	○	○	○		冬鳥
33			カワアイサ	<i>Mergus merganser</i>	○		○	○	○	○	○	冬鳥
34			ウミアイサ	<i>Mergus serrator</i>	○	○		○	○	○	○	冬鳥
35	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	<i>Tachybaptus ruficollis</i>	○	○	○	○	○	○	○	留鳥
36			カンムリカイツブリ	<i>Podiceps cristatus</i>	○	○	○	○	○	○	○	冬鳥
37			ハジロカイツブリ	<i>Podiceps nigricollis</i>	○	○		○	○	○	○	冬鳥
38	ハト	ハト	キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i>	○	○	○	○	○	○	○	留鳥
39			ベニバト	<i>Streptopelia tranquebarica</i>					○			迷鳥
40			アオバト	<i>Treron sieboldii</i>	○	○			○	○		留鳥
41	アビ	アビ	アビ	<i>Gavia stellata</i>					○	○		迷鳥
42			オオハム	<i>Gavia arctica</i>					○	○		迷鳥
43			シロエリオオハム	<i>Gavia pacifica</i>				○		○		迷鳥
44	ミズナギドリ	ミズナギドリ	オオミズナギドリ	<i>Colonectris leucomelas</i>					○	○	○	迷鳥
45			ハシボソミズナギドリ	<i>Puffinus tenuirostris</i>					○			迷鳥
46	カツオドリ	カツオドリ	アカアシカツオドリ	<i>Sula sula</i>						○		迷鳥
47		ウ	カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>	○	○	○	○	○	○	○	留鳥
48			ウミウ	<i>Phalacrocorax capillatus</i>					○			冬鳥
49	ペリカン	サギ	サンカノゴイ	<i>Botaurus stellaris</i>					○			冬鳥
50			ヨシゴイ	<i>Ixobrychus sinensis</i>					○	○		夏鳥
51			ミゾゴイ	<i>Gorsachius goisagi</i>						○		夏鳥
52			ゴイサギ	<i>Nycticorax nycticorax</i>	○		○	○	○	○	○	留鳥
53			ササゴイ	<i>Butorides striata</i>	○	○		○	○	○	○	夏鳥
54			アカガシラサギ	<i>Ardeola bacchus</i>					○	○		迷鳥
55			アマサギ	<i>Bubulcus ibis</i>				○	○	○		夏鳥
56			アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>	○	○	○	○	○	○	○	留鳥
57			ムラサキサギ	<i>Ardea purpurea</i>					○			迷鳥
58			ダイサギ	<i>Ardea alba</i>	○	○	○	○	○	○	○	留鳥
59			チュウサギ	<i>Egretta intermedia</i>				○	○	○	○	旅鳥
60			コサギ	<i>Egretta garzetta</i>	○	○	○	○	○	○	○	留鳥
61			カラシラサギ	<i>Egretta eulophotes</i>					○			旅鳥
62		トキ	ヘラサギ	<i>Platalea leucorodia</i>				○	○	○		迷鳥
63			クロツラヘラサギ	<i>Platalea minor</i>					○	○	○	旅鳥
64	ツル	クイナ	クイナ	<i>Rallus aquaticus</i>			○	○	○	○	○	冬鳥
65			シロハラクイナ	<i>Amaurornis phoenicurus</i>			○	○		○		迷鳥

表 7-10 (2) 文献調査 鳥類確認種(2/5)

No.	目名	科名	種名	学名	文献 1	文献 3	文献 4	文献 5	文献 6	文献 7	文献 8	渡り 区分
66	ツル	クイナ	ヒクイナ	<i>Porzana fusca</i>	○	○	○	○	○	○	○	留鳥
67			バン	<i>Gallinula chloropus</i>	○	○	○	○	○	○	○	留鳥
68			オオバン	<i>Fulica atra</i>	○	○	○	○	○	○	○	留鳥
69	カッコウ	カッコウ	ジュウイチ	<i>Hierococcyx hyperythrus</i>					○	○		旅鳥
70			ホトトギス	<i>Cuculus poliocephalus</i>	○			○	○	○		夏鳥
71			ツツドリ	<i>Cuculus optatus</i>				○	○	○		夏鳥
72			カッコウ	<i>Cuculus canorus</i>				○	○	○		夏鳥
73	ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ	<i>Caprimulgus indicus</i>					○	○		夏鳥
74	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ	<i>Apus pacificus</i>				○	○	○		旅鳥
75	チドリ	チドリ	タゲリ	<i>Vanellus vanellus</i>				○	○	○	○	冬鳥
76			ケリ	<i>Vanellus cinereus</i>	○	○	○	○	○	○	○	留鳥
77			ムナグロ	<i>Pluvialis fulva</i>					○	○		旅鳥
78			ダイゼン	<i>Pluvialis squatarola</i>				○	○			旅鳥
79			イカルチドリ	<i>Charadrius placidus</i>	○		○	○	○	○		留鳥
80			コチドリ	<i>Charadrius dubius</i>	○	○	○	○	○	○	○	留鳥
81			シロチドリ	<i>Charadrius alexandrinus</i>	○	○		○	○	○		留鳥
82			メダイチドリ	<i>Charadrius mongolus</i>				○	○	○		旅鳥
83		ミヤコドリ	ミヤコドリ	<i>Haematopus ostralegus</i>						○	○	冬鳥
84		セイタカシギ	セイタカシギ	<i>Himantopus himantopus</i>					○	○		旅鳥
85		シギ	ヤマシギ	<i>Scolopax rusticola</i>					○	○		冬鳥
86			オオジシギ	<i>Gallinago hardwickii</i>					○			旅鳥
87			チュウジシギ	<i>Gallinago megala</i>						○	○	旅鳥
88			タシギ	<i>Gallinago gallinago</i>	○			○	○	○	○	冬鳥
89			オグロシギ	<i>Limosa limosa</i>				○	○			旅鳥
90			オオソリハシシギ	<i>Limosa lapponica</i>				○	○			旅鳥
91			コシヤクシギ	<i>Numenius minutus</i>					○	○		迷鳥
92			チュウシヤクシギ	<i>Numenius phaeopus</i>	○	○		○	○	○	○	旅鳥
93			ダイシヤクシギ	<i>Numenius arquata</i>				○	○			旅鳥
94			ホウロクシギ	<i>Numenius madagascariensis</i>				○	○	○		旅鳥
95			ツルシギ	<i>Tringa erythropus</i>						○		旅鳥
96			アオアシシギ	<i>Tringa nebularia</i>	○			○	○	○		旅鳥
97			クサシギ	<i>Tringa ochropus</i>				○	○	○	○	冬鳥
98			タカブシギ	<i>Tringa glareola</i>					○	○	○	旅鳥
99			キアシシギ	<i>Heteroscelus brevipes</i>	○	○		○	○	○		旅鳥
100			ソリハシシギ	<i>Xenus cinereus</i>	○	○		○	○	○		旅鳥
101			イソシギ	<i>Actitis hypoleucos</i>	○	○	○	○	○	○	○	留鳥
102			キョウジョシギ	<i>Arenaria interpres</i>				○	○	○		旅鳥
103			オバシギ	<i>Calidris tenuirostris</i>					○	○		旅鳥
104			コオバシギ	<i>Calidris canutus</i>					○			旅鳥
105			ミュビシギ	<i>Calidris alba</i>					○			旅鳥
106			トウネン	<i>Calidris ruficollis</i>				○	○	○		旅鳥
107			ウズラシギ	<i>Calidris acuminata</i>					○			旅鳥
108			サルハマシギ	<i>Calidris ferruginea</i>					○			旅鳥
109			ハマシギ	<i>Calidris alpina</i>	○			○	○	○		冬鳥
110			キリアイ	<i>Limicola falcinellus</i>					○			旅鳥
111			アカエリヒレアシシギ	<i>Phalaropus lobatus</i>					○	○		旅鳥
112			ハイイロヒレアシシギ	<i>Phalaropus fulicarius</i>					○			迷鳥
113		ツバメチドリ	ツバメチドリ	<i>Glareola maldivarum</i>					○	○		旅鳥
114		カモメ	ユリカモメ	<i>Larus ridibundus</i>	○	○	○	○	○	○	○	冬鳥
115			ズグロカモメ	<i>Larus saundersi</i>				○	○			冬鳥
116			ウミネコ	<i>Larus crassirostris</i>	○			○	○	○	○	留鳥
117			カモメ	<i>Larus canus</i>				○	○	○	○	冬鳥
118			セグロカモメ	<i>Larus argentatus</i>	○	○	○	○	○	○		冬鳥
119			オオセグロカモメ	<i>Larus schistisagus</i>				○	○	○		冬鳥
120			オニアジサシ	<i>Sterna caspia</i>					○			迷鳥
121			コアジサシ	<i>Sterna albifrons</i>	○	○		○	○	○	○	夏鳥
122			アジサシ	<i>Sterna hirundo</i>	○				○			旅鳥
123			クロハラアジサシ	<i>Chlidonias hybrida</i>				○	○	○		旅鳥
124			ハジロクロハラアジサシ	<i>Chlidonias leucopterus</i>					○			旅鳥
125			ハシグロクロハラアジサシ	<i>Chlidonias niger</i>					○			迷鳥
126	タカ	ミサゴ	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>	○	○	○	○	○	○	○	留鳥
127		タカ	ハチクマ	<i>Pernis ptilorhynchus</i>					○	○	○	夏鳥
128			トビ	<i>Milvus migrans</i>	○	○	○	○	○	○	○	留鳥
129			チュウヒ	<i>Circus spilonotus</i>	○	○		○	○	○		冬鳥
130			ハイイロチュウヒ	<i>Circus cyaneus</i>					○	○		冬鳥

表 7-10 (3) 文献調査 鳥類確認種(3/5)

No.	目名	科名	種名	学名	文献 1	文献 3	文献 4	文献 5	文献 6	文献 7	文献 8	渡り 区分		
131	タカ	タカ	ツミ	<i>Accipiter gularis</i>					○	○	○	留鳥		
132			ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	冬鳥	
133			オオタカ	<i>Accipiter gentilis</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	留鳥	
134			サシバ	<i>Butastur indicus</i>				○	○	○	○		夏鳥	
135			ノスリ	<i>Buteo buteo</i>			○		○	○	○	○	○	冬鳥
136					ケアシノスリ	<i>Buteo lagopus</i>					○	○		迷鳥
137	フクロウ	フクロウ	オオコノハズク	<i>Otus lempiji</i>				○	○	○		冬鳥		
138			フクロウ	<i>Strix uralensis</i>							○		留鳥	
139			アオバズク	<i>Ninox scutulata</i>								○	夏鳥	
140			トラフズク	<i>Asio otus</i>					○	○	○	○	冬鳥	
141			コミミズク	<i>Asio flammeus</i>	○				○	○	○		冬鳥	
142	サイチョウ	ヤツガシラ	ヤツガシラ	<i>Upupa epops</i>					○	○		旅鳥		
143	ブッポウソウ	カワセミ	アカショウビン	<i>Halcyon coromanda</i>							○	旅鳥		
144			カワセミ	<i>Alcedo atthis</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	留鳥	
145			ヤマセミ	<i>Megaceryle lugubris</i>								○	留鳥	
146	キツツキ	キツツキ	アリスイ	<i>Jynx torquilla</i>				○	○	○	○	冬鳥		
147			コグラ	<i>Dendrocopos kizuki</i>	○		○	○	○	○	○	○	留鳥	
148			アカゲラ	<i>Dendrocopos major</i>					○	○	○		冬鳥	
149			アオゲラ	<i>Picus awokera</i>	○							○	留鳥	
150	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	<i>Falco tinnunculus</i>	○	○	○	○	○	○	○	留鳥		
151			コチョウゲンボウ	<i>Falco columbarius</i>						○	○		冬鳥	
152			ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i>	○		○	○	○	○	○	○	留鳥	
153	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ	<i>Pericrocotus divaricatus</i>					○		○	夏鳥		
154		コウライウグイス	コウライウグイス	<i>Oriolus chinensis</i>					○	○	○	迷鳥		
155		カササギヒタキ	サンコウチョウ	<i>Terpsiphone atrocaudata</i>					○		○	夏鳥		
156		モズ	チゴモズ	<i>Lanius ugrinus</i>						○	○	○	迷鳥	
157			モズ	<i>Lanius bucephalus</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	留鳥	
158			アカモズ	<i>Lanius cristatus</i>						○	○		旅鳥	
159			オオモズ	<i>Lanius excubitor</i>							○		迷鳥	
160		カラス	カケス	<i>Garrulus glandarius</i>						○	○		留鳥	
161			ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	留鳥	
162			ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	留鳥	
163		クイタダキ	クイタダキ	<i>Regulus regulus</i>					○	○	○		冬鳥	
164		ツリスガラ	ツリスガラ	<i>Remiz pendulinus</i>					○	○	○		冬鳥	
165		シジュウカラ	ヤマガラ	<i>Poecile varius</i>	○	○	○	○	○	○	○		留鳥	
166			ヒガラ	<i>Periparus ater</i>					○	○	○		留鳥	
167			シジュウカラ	<i>Parus minor</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	留鳥	
168		ヒバリ	ヒメコウテンシ	<i>Calandrella brachydactyla</i>						○			迷鳥	
169			コヒバリ	<i>Calandrella cheleensis</i>						○			迷鳥	
170			ヒバリ	<i>Alauda arvensis</i>	○	○		○	○	○	○	○	留鳥	
171		ツバメ	ショウドウツバメ	<i>Riparia riparia</i>					○	○	○		旅鳥	
172			ツバメ	<i>Hirundo rustica</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	夏鳥	
173	コシアカツバメ		<i>Hirundo daurica</i>	○				○	○	○	○	夏鳥		
174	イワツバメ		<i>Delichon dasyopus</i>				○	○	○	○	○	夏鳥		
175	ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	留鳥		
176	ウグイス	ウグイス	<i>Cettia diphone</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	留鳥		
177		ヤブサメ	<i>Urosphena squameiceps</i>						○	○		夏鳥		
178	エナガ	エナガ	<i>Aegithalos caudatus</i>	○		○	○	○	○	○	○	留鳥		
179	ムシクイ	チフチャフ	<i>Phylloscopus collybita</i>						○			迷鳥		
180		ムジセッカ	<i>Phylloscopus fuscatu</i>						○			迷鳥		
181		キマユムシクイ	<i>Phylloscopus inornatus</i>						○	○		迷鳥		
182		オオムシクイ	<i>Phylloscopus examinandus</i>	○	○			○	○	○		旅鳥		
183		メボソムシクイ	<i>Phylloscopus xanthodryas</i>					○	○	○	○	旅鳥		
184		エゾムシクイ	<i>Phylloscopus borealoides</i>					○	○	○	○	旅鳥		
185		センダイムシクイ	<i>Phylloscopus coronatus</i>				○	○	○	○		夏鳥		
186	メジロ	メジロ	<i>Zosterops japonicus</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	留鳥		
187	センニュウ	マキノセンニュウ	<i>Locustella lanceolata</i>						○			迷鳥		
188		シマセンニュウ	<i>Locustella ochotensis</i>						○	○		旅鳥		
189	ヨシキリ	オオヨシキリ	<i>Acrocephalus orientalis</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	夏鳥		
190		コヨシキリ	<i>Acrocephalus bistrigiceps</i>					○	○	○		旅鳥		
191	セッカ	セッカ	<i>Cisticola juncidis</i>	○	○			○	○	○	○	留鳥		
192	レンジャク	キレンジャク	<i>Bombycilla garrulus</i>						○	○		冬鳥		
193		ヒレンジャク	<i>Bombycilla japonica</i>					○	○	○		冬鳥		
194	ゴジュウカラ	ゴジュウカラ	<i>Sitta europaea</i>						○			留鳥		
195	ムクドリ	ギンムクドリ	<i>Spodiopsar sericeus</i>						○			冬鳥		

表 7-10 (4)文献調査 鳥類確認種(4/5)

No.	目名	科名	種名	学名	文献 1	文献 3	文献 4	文献 5	文献 6	文献 7	文献 8	渡り 区分			
196	スズメ	ムクドリ	ムクドリ	<i>Spodiopsar cineraceus</i>	○	○	○	○	○	○	○	留鳥			
197			コムクドリ	<i>Agropsar philippensis</i>				○	○	○		旅鳥			
198			カラムクドリ	<i>Sturnia sinensis</i>					○			迷鳥			
199			ホシムクドリ	<i>Sturnus vulgaris</i>					○	○	○	冬鳥			
200		ヒタキ		マミジロ	<i>Zoothera sibirica</i>								旅鳥		
201				トラツグミ	<i>Zoothera dauma</i>			○		○	○		冬鳥		
202				カラアカハラ	<i>Turdus hortulorum</i>							○		迷鳥	
203				クロツグミ	<i>Turdus cardis</i>						○	○		夏鳥	
204				マミチャジナイ	<i>Turdus obscurus</i>					○	○	○		旅鳥	
205				シロハラ	<i>Turdus pallidus</i>	○	○	○	○	○	○	○		冬鳥	
206				アカハラ	<i>Turdus chrysolaus</i>				○	○	○	○		旅鳥	
207				ツグミ	<i>Turdus naumanni</i>	○	○	○	○	○	○	○		冬鳥	
208				コマドリ	<i>Luscinia akahige</i>								○		旅鳥
209				オガワコマドリ	<i>Luscinia svecica</i>						○	○	○		迷鳥
210				ノゴマ	<i>Luscinia calliope</i>						○	○	○		旅鳥
211				コルリ	<i>Luscinia cyane</i>								○		旅鳥
212				ルリビタキ	<i>Tarsiger cyanurus</i>						○	○	○	○	冬鳥
213				ジョウビタキ	<i>Phoenicurus aureoreus</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	冬鳥
214				ノビタキ	<i>Saxicola torquatus</i>						○	○	○	○	旅鳥
215				イナバヒタキ	<i>Oenanthe isabellina</i>							○	○		迷鳥
216				イソヒヨドリ	<i>Monticola solitarius</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	留鳥
217				エゾビタキ	<i>Muscicapa griseisticta</i>						○	○	○		旅鳥
218				サメビタキ	<i>Muscicapa sibirica</i>						○	○	○		旅鳥
219				コサメビタキ	<i>Muscicapa dauurica</i>					○	○	○	○	○	旅鳥
220				マミジロキビタキ	<i>Ficedula zanthopygia</i>							○			迷鳥
221				キビタキ	<i>Ficedula narcissina</i>					○	○	○	○	○	夏鳥
222				ムギマキ	<i>Ficedula mugimaki</i>							○	○		旅鳥
223				オジロビタキ	<i>Ficedula albicilla</i>						○				迷鳥
224				ニシオジロビタキ	<i>Ficedula parva</i>							○	○		冬鳥
225				オオルリ	<i>Cyanoptila cyanomelana</i>						○	○	○		夏鳥
226				スズメ		ニューナイスズメ	<i>Passer rutilans</i>						○	○	冬鳥
227						スズメ	<i>Passer montanus</i>	○	○	○	○	○	○	○	○
228				セキレイ		ツメナガセキレイ	<i>Motacilla flava</i>						○	○	迷鳥
229		キガシラセキレイ	<i>Motacilla citreola</i>									○		迷鳥	
230		キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i>			○			○	○	○	○	○	留鳥	
231		ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	留鳥	
232		セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>			○	○	○	○	○	○	○	○	留鳥	
233		マミジロタヒバリ	<i>Anthus richardi</i>									○		迷鳥	
234		ビンズイ	<i>Anthus hodgsoni</i>									○	○	冬鳥	
235		セジロタヒバリ	<i>Anthus gustavi</i>									○		迷鳥	
236		ムネアカタヒバリ	<i>Anthus cervinus</i>									○	○	旅鳥	
237		タヒバリ	<i>Anthus rubescens</i>			○	○			○	○	○	○	冬鳥	
238		アトリ				アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i>				○	○	○	○	冬鳥
239				カワラヒワ	<i>Chloris sinica</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	留鳥	
240				マヒワ	<i>Carduelis spinus</i>						○	○	○	冬鳥	
241				ベニヒワ	<i>Carduelis flammea</i>						○			迷鳥	
242				ベニマシコ	<i>Uragus sibiricus</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	冬鳥	
243	アカマシコ			<i>Carpodacus erythrinus</i>						○			迷鳥		
244	オオマシコ			<i>Carpodacus roseus</i>							○		冬鳥		
245	ウソ			<i>Pyrrhula pyrrhula</i>								○	冬鳥		
246	シメ			<i>Coccothraustes coccothraustes</i>	○					○	○	○	○	冬鳥	
247	コイカル			<i>Eophona migratoria</i>							○			冬鳥	
248	イカル			<i>Eophona personata</i>	○			○	○	○	○			留鳥	
249	ツメナガホオジロ			<i>Calcarius lapponicus</i>								○		迷鳥	
250	ホオジロ				ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>	○			○	○	○	○	留鳥	
251					ホオアカ	<i>Emberiza fucata</i>						○	○	○	冬鳥
252					コホオアカ	<i>Emberiza pusilla</i>							○	○	迷鳥
253					カシラダカ	<i>Emberiza rustica</i>	○			○	○	○	○	○	冬鳥
254					ミヤマホオジロ	<i>Emberiza elegans</i>							○	○	冬鳥
255		ノジロ	<i>Emberiza sulphurata</i>								○	○	旅鳥		
256		アオジ	<i>Emberiza spodocephala</i>		○	○	○	○	○	○	○	○	冬鳥		
257		クロジ	<i>Emberiza variabilis</i>								○	○	冬鳥		
258		シベリアジュリン	<i>Emberiza pallasi</i>								○		迷鳥		
259		コジュリン	<i>Emberiza yessoensis</i>								○		迷鳥		
260		オオジュリン	<i>Emberiza schoeniclus</i>		○	○			○	○	○	○	冬鳥		

表 7-10 (5) 文献調査 鳥類確認種(5/5)

No.	目名	科名	種名	学名	文献 1	文献 3	文献 4	文献 5	文献 6	文献 7	文献 8	渡り 区分
261	(キジ)	(キジ)	コジュケイ	<i>Bambusicola thoracicus</i>	○			○	○	○		移入
262	(ハト)	(ハト)	カワラバト(ドバト)	<i>Columba livia</i>	○	○	○	○	○	○		移入
263	(カモ)	(カモ)	コブハクチョウ	<i>Cygnus olor</i>						○		移入
264			アイガモ	<i>Anas platyrhynchos var.domesticus</i>			○	○				移入
265			アヒル	<i>Anas platyrhynchos var.domesticus</i>	○							移入
266	コウノトリ	コウノトリ	コウノトリ	<i>Ciconia boyciana</i>					○	○		移入
267	(スズメ)	(ヒヨドリ)	シロガシラ	<i>Pycnonotus sinensis</i>						○		移入
268		チメドリ	ソウシチョウ	<i>Leiothrix lutea</i>					○	○		移入
269		(ムクドリ)	ハッカチョウ	<i>Acridotheres cristatellus</i>	○	○		○	○	○		移入
270		ハタオリドリ	オオキンランチョウ	<i>Euplectes orix</i>					○			移入
271		カエデチョウ	ベニスズメ	<i>Amandava amandava</i>					○	○		移入
272			ギンバラ	<i>Lonchura malacca</i>					○			移入
273			キンバラ	<i>Lonchura atricapilla</i>					○			移入
274			ヘキチョウ	<i>Lonchura maja</i>					○			移入
275			ブンチョウ	<i>Lonchura oryzivora</i>					○			移入
計	21 目	58 科	275 種		94 種	68 種	75 種	161 種	246 種	221 種	94 種	

- ・分類及び配列は「日本鳥類目録 改訂第7版」(2012年, 日本鳥学会)に従った。
- ・渡り区分の分類は、「大阪府鳥類目録2016」(2017年3月31日, 日本野鳥の会大阪支部)に従った。

② 鳥類重要種

文献調査で確認された鳥類のうち、重要種に該当する種は 14 目 30 科 96 種であった。確認された重要種を表 7-11 に示す。

今回の調査で、種の保存法記載種が 5 種、環境省レッドリスト記載種が 46 種、大阪府レッドリスト記載種が 70 種確認された。該当種はチドリ目をはじめとする水鳥が多くを占めている。

表 7-11 (1) 確認された重要種

No.	目名	科名	種名	学名	種の保存法	環境省 RL	大阪府 RL		
1	キジ	キジ	ウズラ	<i>Coturnix japonica</i>		VU	CR+EN		
2	カモ	カモ	ヒシクイ	<i>Anser fabalis</i>		VU			
3			マガン	<i>Anser albifrons</i>		NT			
4			コクガン	<i>Branta bernicla</i>		VU			
5			ツクシガモ	<i>Tadorna tadorna</i>		VU			
6			オシドリ	<i>Aix galericulata</i>		DD			
7			トモエガモ	<i>Anas formosa</i>		VU			
8			アカハジロ	<i>Aythya baeri</i>		DD			
9			ウミアイサ	<i>Mergus serrator</i>				NT	
10			カツオドリ	カツオドリ	アカアシカツオドリ	<i>Sula sula</i>		EN	
11	ペリカン	サギ	サンカノゴイ	<i>Botaurus stellaris</i>		EN			
12			ヨシゴイ	<i>Ixobrychus sinensis</i>		NT	VU		
13			ミゾゴイ	<i>Gorsachius goisagi</i>		VU	VU		
14			アマサギ	<i>Bubulcus ibis</i>			VU		
15			チュウサギ	<i>Egretta intermedia</i>		NT			
16			カラシラサギ	<i>Egretta eulophotes</i>		NT			
17		トキ	ヘラサギ	<i>Platalea leucorodia</i>		DD			
18			クロツラヘラサギ	<i>Platalea minor</i>	○	EN			
19		ツル	クイナ	クイナ	<i>Rallus aquaticus</i>			NT	
20	ヒクイナ			<i>Porzana fusca</i>		NT	VU		
21	カッコウ	カッコウ	ツツドリ	<i>Cuculus optatus</i>			NT		
22	ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ	<i>Caprimulgus indicus</i>		NT	VU		
23	チドリ	チドリ	タゲリ	<i>Vanellus vanellus</i>			NT		
24			ケリ	<i>Vanellus cinereus</i>		DD	NT		
25			ムナグロ	<i>Pluvialis fulva</i>			VU		
26			ダイゼン	<i>Pluvialis squatarola</i>			VU		
27			イカルチドリ	<i>Charadrius placidus</i>			VU		
28			コチドリ	<i>Charadrius dubius</i>			NT		
29			シロチドリ	<i>Charadrius alexandrinus</i>		VU	VU		
30			メダイチドリ	<i>Charadrius mongolus</i>			VU		
31			セイタカシギ	セイタカシギ	<i>Himantopus himantopus</i>		VU		
32			シギ	シギ	オオジシギ	<i>Gallinago hardwickii</i>		NT	NT
33					チュウジシギ	<i>Gallinago megala</i>			NT
34					タシギ	<i>Gallinago gallinago</i>			NT
35					オグロシギ	<i>Limosa limosa</i>			NT
36					オオソリハシシギ	<i>Limosa lapponica</i>		VU	VU
37					コシヤクシギ	<i>Numenius minutus</i>		EN	
38					チュウシヤクシギ	<i>Numenius phaeopus</i>			NT
39					ダイシヤクシギ	<i>Numenius arquata</i>			NT
40					ホウロクシギ	<i>Numenius madagascariensis</i>		VU	NT
41					ツルシギ	<i>Tringa erythropus</i>		VU	VU
42					アオアシシギ	<i>Tringa nebularia</i>			VU
43		クサシギ			<i>Tringa ochropus</i>			NT	
44		タカブシギ			<i>Tringa glareola</i>		VU	VU	
45		キアシシギ			<i>Heteroscelus brevipes</i>			NT	
46		ソリハシシギ			<i>Xenus cinereus</i>			VU	
47		イソシギ			<i>Actitis hypoleucos</i>			NT	
48		キョウジョシギ			<i>Arenaria interpres</i>			VU	

表 7-11 (2) 確認された重要種

No.	目名	科名	種名	学名	種の保存法	環境省 RL	大阪府 RL		
49	チドリ	シギ	オバシギ	<i>Calidris tenuirostris</i>			VU		
50			コオバシギ	<i>Calidris canutus</i>			NT		
51			ミュビシギ	<i>Calidris alba</i>			NT		
52			トウネン	<i>Calidris ruficollis</i>			NT		
53			ウズラシギ	<i>Calidris acuminata</i>			VU		
54			サルハマシギ	<i>Calidris ferruginea</i>			NT		
55			ハマシギ	<i>Calidris alpina</i>			NT		
56			キリアイ	<i>Limicola falcinellus</i>			NT		
57			ツバメチドリ	ツバメチドリ	<i>Glareola maldivarum</i>		VU	CR+EN	
58			カモメ		ズグロカモメ	<i>Larus saundersi</i>		VU	NT
59					コアジサシ	<i>Sterna albifrons</i>		VU	CR+EN
60			タカ	ミサゴ	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>		NT	
61				タカ	ハチクマ	<i>Pernis ptilorhynchus</i>		NT	CR+EN
62	チュウヒ	<i>Circus spilonotus</i>			○	EN	CR+EN		
63	ハイロチュウヒ	<i>Circus cyaneus</i>					NT		
64	ツミ	<i>Accipiter gularis</i>					VU		
65	ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i>					NT		
66	オオタカ	<i>Accipiter gentilis</i>					NT	NT	
67	サシバ	<i>Butastur indicus</i>					VU	CR+EN	
68	ノスリ	<i>Buteo buteo</i>						NT	
69	フクロウ	フクロウ			オオコノハズク	<i>Otus lempiji</i>			DD
70			フクロウ		<i>Strix uralensis</i>			NT	
71			アオバズク	<i>Ninox scutulata</i>			VU		
72			トラフズク	<i>Asio otus</i>			VU		
73			コムミズク	<i>Asio flammeus</i>			VU		
74	ブッポウソウ	カワセミ	ヤマセミ	<i>Megaceryle lugubris</i>			NT		
75	ハヤブサ	ハヤブサ	コチョウゲンボウ	<i>Falco columbarius</i>			NT		
76			ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i>	○	VU			
77	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ	<i>Pericrocotus divaricatus</i>		VU	VU		
78		モズ	チゴモズ	<i>Lanius tigrinus</i>			CR		
79			アカモズ	<i>Lanius cristatus</i>	○	EN			
80		ヒバリ	ヒバリ	<i>Alauda arvensis</i>			NT		
81		ツバメ	コシアカツバメ	<i>Hirundo daurica</i>			NT		
82		ムシクイ	オオムシクイ	<i>Phylloscopus examinandus</i>			DD		
83			センダイムシクイ	<i>Phylloscopus coronatus</i>			NT		
84		センニュウ	マキノセンニュウ	<i>Locustella lanceolata</i>			NT		
85		ヨシキリ	オオヨシキリ	<i>Acrocephalus orientalis</i>			NT		
86		セッカ	セッカ	<i>Cisticola juncidis</i>			NT		
87		ゴジュウカラ	ゴジュウカラ	<i>Sitta europaea</i>			NT		
88		ヒタキ	トラツグミ	<i>Zoothera dauma</i>			NT		
89			コサメビタキ	<i>Muscicapa dauurica</i>			VU		
90		ホオジロ	ホオアカ	<i>Emberiza fucata</i>			NT		
91			カシラダカ	<i>Emberiza rustica</i>			NT		
92			ミヤマホオジロ	<i>Emberiza elegans</i>			NT		
93			ノジコ	<i>Emberiza sulphurata</i>			NT		
94	コジュリン		<i>Emberiza yessoensis</i>			VU			
95	オオジュリン		<i>Emberiza schoeniclus</i>			NT			
96	コウノトリ	コウノトリ	コウノトリ	<i>Ciconia boyciana</i>	○	CR			
計	14 目	30 科		96 種	5 種	46 種	70 種		

CR+EN：絶滅危惧 I 類 絶滅の危機に瀕している種
 VU：絶滅危惧 II 類 絶滅の危険が増大している種
 NT：準絶滅危惧種 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては絶滅危惧に移行する可能性のある種
 DD：情報不足 評価するだけの情報が不足している種

③ 哺乳類確認種

文献・資料調査の結果、4目8科14種の哺乳類を確認した。確認された哺乳類を表 7-12 に示す。
 なお、学名・分類群・配列は「日本の哺乳類 改定2版」(2008年、東海大学出版会)に従った。

表 7-12 文献・資料調査 哺乳類確認種

No.	目名	科名	種名	学名	文献2	文献3	
1	モグラ	モグラ	コウベモグラ	<i>Mogera wogura</i>		○	
-			モグラ属の一種	<i>Mogera sp.</i>	○	○	
2	コウモリ	ヒナコウモリ	アブラコウモリ	<i>Pipistrellus abramus</i>	○		
-			ヒナコウモリ科の一種	<i>Vespertilionidae sp.</i>	○		
3	ネコ	イヌ	キツネ	<i>Vulpes vulpes</i>	○	○	
4			タヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides</i>	○	○	
5			ノイヌ	<i>Canis lupus familiaris</i>		○	
6		アライグマ	アライグマ	<i>Procyon lotor</i>	○	○	
7			アライグマ属の一種	<i>Procyon sp.</i>	○	○	
8		イタチ	ニホンテン	イタチ	<i>Martes melampus</i>		○
-				イタチ属の一種	<i>Mustela sp.</i>	○	○
9		ジャコウネコ	ハクビシン	<i>Paguma larvata</i>		○	
10	ネズミ	ネズミ	カヤネズミ	<i>Micromys minutus</i>	○	○	
11			アカネズミ	<i>Apodemus speciosus</i>	○		
12			ドブネズミ	<i>Rattus norvegicus</i>	○		
13			ハツカネズミ	<i>Mus musculus</i>	○		
14		ヌートリア	ヌートリア	<i>Myocastor coypus</i>	○		
	4目	8科	14種		11種	9種	

・学名、分類及び配列は「日本の哺乳類 改定2版」(2008年、東海大学出版会)に従った。

※モグラ属の一種、ヒナコウモリ科の一種、アライグマ属の一種は、同属の識別された種と同種の可能性があるため、種数として計上していない。イタチ属の一種は同属には確認された種がなく、1種として扱う。

④ 哺乳類重要種

文献・資料調査で確認された哺乳類のうち、重要種に該当する種はキツネおよびカヤネズミの2目2科2種であった。確認された重要種を表 7-13 に示す。

表 7-13 確認された重要種

No.	目名	科名	種名	学名	種の保存法	環境省 RL	大阪府 RL
1	ネコ目	イヌ科	キツネ	<i>Vulpes vulpes</i>			CR+EN
2	ネズミ目	ネズミ科	カヤネズミ	<i>Micromys minutus</i>			NT
計	2目	2科	2種		0種	0種	2種

CR+EN : 絶滅危惧 I 類 絶滅の危機に瀕している種
 NT : 準絶滅危惧種 大阪府内において存続基盤が脆弱な種

8. まとめ

1. 現地調査と文献調査により、21 目 58 科 275 種の鳥類、4 目 9 科 15 種の哺乳類が確認され、そのうち鳥類 96 種、哺乳類 2 種が重要種であった（

表 8-1～4)。

2. 現地調査の結果、13 目 33 科 76 種の鳥類が確認された。各調査回の確認種数は繁殖期が 38 種、秋の渡り期が 40 種、越冬期が 58 種であった。また、確認した鳥類の渡り区分の内訳は、留鳥 51%、夏鳥 7%、冬鳥 33%と、留鳥の割合が半数を占め、次いで冬鳥の割合が高い結果となった。繁殖が確認された種 (A ランク) はなく、繁殖の可能性が高い種 (B ランク) は 18 種であった。

ラインセンサス法で記録された鳥類は、12 目 30 科 54 種 1693 羽であり、その内訳は、R1 で 43 種 1007 羽、R2 で 36 種 686 羽であった。市街地に近いことを反映して、人家に営巣するムクドリ、スズメといった都市鳥、ドバト、ハッカチョウといった群性の高い移入種が多かった。河川敷を代表する鳥として、オオヨシキリ、オオジュリンといったヨシ原の鳥、セッカやヒバリといった草地の鳥が確認された。

定点観察で記録された鳥類は 11 目 28 科 44 種 405 羽であり、その内訳は、P1 で 35 種 265 羽、P2 で 31 種 140 羽であった。大型で群性の高い種の確認数が多く、水域に面した P1 では繁殖期のウミネコ、越冬期のカモ類やオオバンが突出したほか、渡りのヒヨドリの群れ、秋冬のスズメの群れ、群れで行動するムクドリやドバトが突出して多い場合があった。ハイタカのような猛禽類や、エゾビタキなど渡り途中の小鳥も確認された。

哺乳類は 2 目 3 科 4 種が確認され、重要種のカヤネズミ、特定外来生物のヌートリアが確認された。

3. 文献調査の結果、21 目 58 科 275 種の鳥類が確認され、そのうち 96 種が重要種であった。これら確認種の渡り区分の内訳は、現地調査とは異なり冬鳥の占める割合が 27%で最も高かった。また、21%が旅鳥、19%が迷鳥で留鳥の 19%と並んだ。偶発的・短期間に生息する種数が多いことを示している。

哺乳類は 4 目 8 科 14 種が確認され、重要種のカヤネズミ、キツネ、特定外来生物のヌートリア、アライグマが確認された。

4. 現地調査における重要種は、鳥類 5 目 12 科 16 種、哺乳類 1 目 1 科 1 種であった。鳥類では国内希少野生動植物種に指定されるハヤブサが確認され、環境省レッドリスト記載種 6 種、大阪府レッドリスト記載種 13 種が確認された。また、文献調査における重要種は鳥類 13 目 30 科 96 種、哺乳類 2 目 2 科 2 種であった。鳥類では種の保存法記載種は 5 種、環境省レッドリスト記載種は 46 種、大阪府レッドリスト記載種は 70 種であった。鳥類の重要種の内訳では、チドリ目をはじめとする水鳥の占める比率が高かった。
5. このように淀川鳥獣保護区は、一年中生息する留鳥を主体として、冬期に滞在する冬鳥が多く生息する草地や水辺を主な生息地とする鳥類の生息環境となっているほか、渡来頻度の少ない旅鳥や迷鳥が多種にわたって生息する、大阪府下に置いて稀有な野鳥の渡来地であると考えられた。以上より、淀川鳥獣保護区は府域の鳥類の生息地として非常に貴重な地域であると言える。
6. 哺乳類については、重要種であるカヤネズミが広く生息しているものと見られ、この保全が求められる一方、特定外来生物であるヌートリアやアライグマの動向が注目される。
7. 淀川鳥獣保護区には、40 地区の淀川河川公園が整備され、自然とのふれあいの場として多くの利用者を受け入れている。今後も保護区として更新を続け、身近に体感できる優良な野生鳥獣の生息地として、より良い環境を整えることが重要であると考えられる。

表 8-1 (1) 現地調査・文献調査の鳥類確認種(1/6)

No.	目名	科名	種名	学名	現地調査			文献調査		
					繁殖期	秋期	越冬期			
1	キジ	キジ	ウズラ	<i>Coturnix japonica</i>				○		
2			キジ	<i>Phasianus colchicus</i>	○	○	○	○		
3	カモ	カモ	ヒシクイ	<i>Anser fabalis</i>				○		
4			マガン	<i>Anser albifrons</i>				○		
5			コクガン	<i>Branta bernicla</i>				○		
6			コハクチョウ	<i>Cygnus columbianus</i>				○		
7			ツクシガモ	<i>Tadorna tadorna</i>				○		
8			オシドリ	<i>Aix galericulata</i>				○		
9			オカヨシガモ	<i>Anas strepera</i>				○	○	
10			ヨシガモ	<i>Anas fulcata</i>					○	
11			ヒドリガモ	<i>Anas penelope</i>				○	○	
12			アメリカヒドリ	<i>Anas americana</i>					○	
13			マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i>				○	○	
14			カルガモ	<i>Anas zonorhyncha</i>	○	○	○		○	
15			ハシビロガモ	<i>Anas clypeata</i>				○	○	
16			オナガガモ	<i>Anas acuta</i>					○	
17			シマアジ	<i>Anas querquedula</i>					○	
18			トモエガモ	<i>Anas formosa</i>					○	
19			コガモ	<i>Anas crecca</i>					○	
20			アカハシハジロ	<i>Netta rufina</i>					○	
21			ホシハジロ	<i>Aythya ferina</i>				○	○	
22			アカハジロ	<i>Aythya baeri</i>					○	
23			メジロガモ	<i>Aythya nyroca</i>					○	
24			クビワキンクロ	<i>Aythya collaris</i>					○	
25			キンクロハジロ	<i>Aythya fuligula</i>				○	○	
26			スズガモ	<i>Aythya marila</i>				○	○	
27			シノリガモ	<i>Histrionicus histrionicus</i>					○	
28			ビロードキンクロ	<i>Melanitta fusca</i>					○	
29			クロガモ	<i>Melanitta americana</i>					○	
30			コオリガモ	<i>Clangula hyemalis</i>					○	
31			ホオジロガモ	<i>Bucephala clangula</i>					○	
32			ミコアイサ	<i>Mergellus albellus</i>					○	
33			カワアイサ	<i>Mergus merganser</i>				○	○	
34			ウミアイサ	<i>Mergus serrator</i>					○	
35			カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	<i>Tachybaptus ruficollis</i>				○
36					カンムリカイツブリ	<i>Podiceps cristatus</i>				○
37	ハジロカイツブリ	<i>Podiceps nigricollis</i>						○	○	
38	ハト	ハト	キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i>	○	○	○	○		
39			ベニバト	<i>Streptopelia tranquebarica</i>				○		
40			アオバト	<i>Treron sieboldii</i>				○		
41	アビ	アビ	アビ	<i>Gavia stellata</i>				○		
42			オオハム	<i>Gavia arctica</i>				○		
43			シロエリオオハム	<i>Gavia pacifica</i>				○		
44	ミズナギドリ	ミズナギドリ	オオミズナギドリ	<i>Calonectris leucomelas</i>				○		
45			ハシボソミズナギドリ	<i>Puffinus tenuirostris</i>				○		
46	カツオドリ	カツオドリ	アカアシカツオドリ	<i>Sula sula</i>				○		
47		ウ	カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>	○	○	○	○		
48			ウミウ	<i>Phalacrocorax capillatus</i>				○		
49	ペリカン	サギ	サンカノゴイ	<i>Botaurus stellaris</i>				○		
50			ヨシゴイ	<i>Ixobrychus sinensis</i>				○		

表 8-1 (2) 現地調査・文献調査の鳥類確認種(2/6)

No.	目名	科名	種名	学名	現地調査			文献調査	
					繁殖期	秋期	越冬期		
51	ペリカン	サギ	ミゾゴイ	<i>Gorsachius goisagi</i>				○	
52			ゴイサギ	<i>Nycticorax nycticorax</i>				○	
53			ササゴイ	<i>Butorides striata</i>	○			○	
54			アカガシラサギ	<i>Ardeola bacchus</i>				○	
55			アマサギ	<i>Bubulcus ibis</i>				○	
56			アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>	○	○	○	○	
57			ムラサキサギ	<i>Ardea purpurea</i>				○	
58			ダイサギ	<i>Ardea alba</i>	○	○	○	○	
59			チュウサギ	<i>Egretta intermedia</i>				○	
60			コサギ	<i>Egretta garzetta</i>	○	○	○	○	
61			カラシラサギ	<i>Egretta eulophotes</i>				○	
62			トキ	ヘラサギ	<i>Platalea leucorodia</i>				○
63				クロツラヘラサギ	<i>Platalea minor</i>				○
64	ツル	クイナ	クイナ	<i>Rallus aquaticus</i>				○	
65			シロハラクイナ	<i>Amauornis phoenicurus</i>				○	
66			ヒクイナ	<i>Porzana fusca</i>	○		○	○	
67			バン	<i>Gallinula chloropus</i>				○	
68			オオバン	<i>Fulica atra</i>		○	○	○	
69	カッコウ	カッコウ	ジュウイチ	<i>Hierococcyx hyperythrus</i>				○	
70			ホトトギス	<i>Cuculus poliocephalus</i>				○	
71			ツツドリ	<i>Cuculus optatus</i>				○	
72			カッコウ	<i>Cuculus canorus</i>				○	
73	ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ	<i>Caprimulgus indicus</i>				○	
74	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ	<i>Apus pacificus</i>				○	
75	チドリ	チドリ	タゲリ	<i>Vanellus vanellus</i>				○	
76			ケリ	<i>Vanellus cinereus</i>			○	○	
77			ムナグロ	<i>Pluvialis fulva</i>				○	
78			ダイゼン	<i>Pluvialis squatarola</i>				○	
79			イカルチドリ	<i>Charadrius placidus</i>	○			○	
80			コチドリ	<i>Charadrius dubius</i>	○			○	
81			シロチドリ	<i>Charadrius alexandrinus</i>				○	
82			メダイチドリ	<i>Charadrius mongolus</i>				○	
83			ミヤコドリ	ミヤコドリ	<i>Haematopus ostralegus</i>				○
84			セイタカシギ	セイタカシギ	<i>Himantopus himantopus</i>				○
85			シギ	ヤマシギ	<i>Scolopax rusticola</i>				○
86				オオジシギ	<i>Gallinago hardwickii</i>				○
87				チュウジシギ	<i>Gallinago megala</i>				○
88		タシギ		<i>Gallinago gallinago</i>				○	
89		オグロシギ		<i>Limosa limosa</i>				○	
90		オオソリハシシギ		<i>Limosa lapponica</i>				○	
91		コシヤクシギ		<i>Numenius minutus</i>				○	
92	チュウシヤクシギ	<i>Numenius phaeopus</i>					○		
93	ダイシヤクシギ	<i>Numenius arquata</i>					○		
94	ホウロクシギ	<i>Numenius madagascariensis</i>					○		
95	ツルシギ	<i>Tringa erythropus</i>					○		
96	アオアシシギ	<i>Tringa nebularia</i>					○		
97	クサシギ	<i>Tringa ochropus</i>					○		
98	タカブシギ	<i>Tringa glareola</i>					○		
99	キアシシギ	<i>Heteroscelus brevipes</i>				○			
100		ソリハシシギ	<i>Xenus cinereus</i>				○		

表 8-1 (3) 現地調査・文献調査の鳥類確認種(3/6)

No.	目名	科名	種名	学名	現地調査			文献調査
					繁殖期	秋期	越冬期	
101	チドリ	シギ	イソシギ	<i>Actitis hypoleucos</i>		○	○	○
102			キョウジョシギ	<i>Arenaria interpres</i>				○
103			オバシギ	<i>Calidris tenuirostris</i>				○
104			コオバシギ	<i>Calidris canutus</i>				○
105			ミュビシギ	<i>Calidris alba</i>				○
106			トウネン	<i>Calidris ruficollis</i>				○
107			ウズラシギ	<i>Calidris acuminata</i>				○
108			サルハマシギ	<i>Calidris ferruginea</i>				○
109			ハマシギ	<i>Calidris alpina</i>				○
110			キリアイ	<i>Limicola falcinellus</i>				○
111			アカエリヒレアシシギ	<i>Phalaropus lobatus</i>				○
112			ハイイロヒレアシシギ	<i>Phalaropus fulicarius</i>				○
113			ツバメチドリ	ツバメチドリ	<i>Glareola maldivarum</i>			
114		カモメ	ユリカモメ	<i>Larus ridibundus</i>			○	○
115			ズグロカモメ	<i>Larus saundersi</i>				○
116			ウミネコ	<i>Larus crassirostris</i>	○			○
117			カモメ	<i>Larus canus</i>				○
118			セグロカモメ	<i>Larus argentatus</i>		○	○	○
119			オオセグロカモメ	<i>Larus schistisagus</i>				○
120			オニアジサシ	<i>Sterna caspia</i>				○
121			コアジサシ	<i>Sterna albifrons</i>				○
122			アジサシ	<i>Sterna hirundo</i>				○
123			クロハラアジサシ	<i>Chlidonias hybrida</i>				○
124			ハジロクロハラアジサシ	<i>Chlidonias leucopterus</i>				○
125			ハシグロクロハラアジサシ	<i>Chlidonias niger</i>				○
126	タカ		ミサゴ	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>		○	○
127		タカ	ハチクマ	<i>Pernis ptilorhynchus</i>				○
128			トビ	<i>Milvus migrans</i>	○	○	○	○
129			チュウヒ	<i>Circus spilonotus</i>				○
130			ハイイロチュウヒ	<i>Circus cyaneus</i>				○
131			ツミ	<i>Accipiter gularis</i>				○
132			ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i>			○	○
133			オオタカ	<i>Accipiter gentilis</i>		○	○	○
134			サシバ	<i>Butastur indicus</i>				○
135			ノスリ	<i>Buteo buteo</i>			○	○
136			ケアシノスリ	<i>Buteo lagopus</i>				○
137	フクロウ	フクロウ	オオコノハズク	<i>Otus lempiji</i>				○
138			フクロウ	<i>Strix uralensis</i>				○
139			アオバズク	<i>Ninox scutulata</i>				○
140			トラフズク	<i>Asio otus</i>				○
141			コミミズク	<i>Asio flammeus</i>				○
142	サイチョウ	ヤツガシラ	ヤツガシラ	<i>Upupa epops</i>				○
143	ブッポウソウ	カワセミ	アカショウビン	<i>Halcyon coromanda</i>				○
144			カワセミ	<i>Alcedo atthis</i>	○	○		○
145			ヤマセミ	<i>Megaceryle lugubris</i>				○
146	キツツキ	キツツキ	アリスイ	<i>Jynx torquilla</i>		○		○
147			コゲラ	<i>Dendrocopos kizuki</i>	○			○
148			アカゲラ	<i>Dendrocopos major</i>				○
149			アオゲラ	<i>Picus awokera</i>				○
150	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	<i>Falco tinnunculus</i>	○	○	○	○

表 8-1 (4) 現地調査・文献調査の鳥類確認種(4/6)

No.	目名	科名	種名	学名	現地調査			文献調査
					繁殖期	秋期	越冬期	
151	ハヤブサ	ハヤブサ	コチョウゲンボウ	<i>Falco columbarius</i>				○
152			ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i>		○		○
153	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ	<i>Pericrocotus divaricatus</i>				○
154		コウライウグイス	コウライウグイス	<i>Oriolus chinensis</i>				○
155		カササギヒタキ	サンコウチョウ	<i>Terpsiphone atrocaudata</i>				○
156		モズ	チゴモズ	<i>Lanius tigrinus</i>				○
157			モズ	<i>Lanius bucephalus</i>	○	○	○	○
158			アカモズ	<i>Lanius cristatus</i>				○
159			オオモズ	<i>Lanius excubitor</i>				○
160		カラス	カケス	<i>Garrulus glandarius</i>				○
161			ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>	○	○	○	○
162			ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>	○	○	○	○
163		クイタダキ	クイタダキ	<i>Regulus regulus</i>				○
164		ツリスガラ	ツリスガラ	<i>Remiz pendulinus</i>				○
165		シジュウカラ	ヤマガラ	<i>Poecile varius</i>				○
166			ヒガラ	<i>Periparus ater</i>				○
167			シジュウカラ	<i>Parus minor</i>	○	○	○	○
168		ヒバリ	ヒメコウテンシ	<i>Calandrella brachydactyla</i>				○
169	コヒバリ		<i>Calandrella cheleensis</i>				○	
170	ヒバリ		<i>Alauda arvensis</i>	○	○	○	○	
171	ツバメ	ショウドウツバメ	<i>Riparia riparia</i>				○	
172		ツバメ	<i>Hirundo rustica</i>	○	○		○	
173		コシアカツバメ	<i>Hirundo daurica</i>	○		○	○	
174		イワツバメ	<i>Delichon dasypus</i>				○	
175	ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>				○	
176	ウグイス	ウグイス	<i>Cettia diphone</i>	○	○	○	○	
177		ヤブサメ	<i>Urosphena squameiceps</i>	○	○	○	○	
178	エナガ	エナガ	<i>Aegithalos caudatus</i>				○	
179	ムシクイ	チフチャフ	<i>Phylloscopus collybita</i>	○		○	○	
180		ムジセッカ	<i>Phylloscopus fuscatus</i>				○	
181		キマユムシクイ	<i>Phylloscopus inornatus</i>				○	
182		オオムシクイ	<i>Phylloscopus examinandus</i>				○	
183		メボソムシクイ	<i>Phylloscopus xanthodryas</i>		○		○	
184		エゾムシクイ	<i>Phylloscopus borealoides</i>				○	
185		センダイムシクイ	<i>Phylloscopus coronatus</i>				○	
186	メジロ	メジロ	<i>Zosterops japonicus</i>				○	
187	センニュウ	マキノセンニュウ	<i>Locustella lanceolata</i>	○		○	○	
188		シマセンニュウ	<i>Locustella ochotensis</i>				○	
189	ヨシキリ	オオヨシキリ	<i>Acrocephalus orientalis</i>				○	
190		コヨシキリ	<i>Acrocephalus bistrigiceps</i>	○			○	
191	セッカ	セッカ	<i>Cisticola juncidis</i>				○	
192	レンジャク	キレンジャク	<i>Bombycilla garrulus</i>	○	○		○	
193		ヒレンジャク	<i>Bombycilla japonica</i>				○	
194	ゴジュウカラ	ゴジュウカラ	<i>Sitta europaea</i>				○	
195	ムクドリ	ギンムクドリ	<i>Spodiopsar sericeus</i>				○	
196		ムクドリ	<i>Spodiopsar cineraceus</i>				○	
197		コムクドリ	<i>Agropsar philippensis</i>	○	○	○	○	
198		カラムクドリ	<i>Sturnia sinensis</i>				○	
199		ホシムクドリ	<i>Sturnus vulgaris</i>				○	
200	ヒタキ	マミジロ	<i>Zoothera sibirica</i>				○	

表 8-1 (5) 現地調査・文献調査の鳥類確認種(5/6)

No.	目名	科名	種名	学名	現地調査			文献調査
					繁殖期	秋期	越冬期	
201	スズメ	ヒタキ	トラツグミ	<i>Zoothera dauma</i>				○
202			カラアカハラ	<i>Turdus hortulorum</i>				○
203			クロツグミ	<i>Turdus cardis</i>				○
204			マミチャジナイ	<i>Turdus obscurus</i>				○
205			シロハラ	<i>Turdus pallidus</i>				○
206			アカハラ	<i>Turdus chrysolaus</i>				○
207			ツグミ	<i>Turdus naumanni</i>				○
208			コマドリ	<i>Luscinia akahige</i>				○
209			オガワコマドリ	<i>Luscinia svecica</i>				○
210			ノゴマ	<i>Luscinia calliope</i>				○
211			コルリ	<i>Luscinia cyane</i>				○
212			ルリビタキ	<i>Tarsiger cyanurus</i>				○
213			ジョウビタキ	<i>Phoenicurus aureus</i>				○
214			ノビタキ	<i>Saxicola torquatus</i>				○
215			イナバヒタキ	<i>Oenanthe isabellina</i>				○
216			イソヒヨドリ	<i>Monticola solitarius</i>				○
217			エゾビタキ	<i>Muscicapa griseisticta</i>				○
218			サメビタキ	<i>Muscicapa sibirica</i>				○
219			コサメビタキ	<i>Muscicapa dauurica</i>				○
220			マミジロキビタキ	<i>Ficedula zanthopygia</i>				○
221			キビタキ	<i>Ficedula narcissina</i>				○
222			ムギマキ	<i>Ficedula mugimaki</i>				○
223			オジロビタキ	<i>Ficedula albicilla</i>				○
224			ニシオジロビタキ	<i>Ficedula parva</i>				○
225			オオルリ	<i>Cyanoptila cyanomelana</i>				○
226	スズメ		ニュウナイスズメ	<i>Passer rutilans</i>				○
227			スズメ	<i>Passer montanus</i>				○
228	セキレイ		ツメナガセキレイ	<i>Motacilla flava</i>	○	○	○	○
229			キガシラセキレイ	<i>Motacilla citreola</i>				○
230			キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i>				○
231			ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>				○
232			セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>	○	○	○	○
233			マミジロタヒバリ	<i>Anthus richardi</i>	○	○	○	○
234			ビンズイ	<i>Anthus hodgsoni</i>				○
235			セジロタヒバリ	<i>Anthus gustavi</i>				○
236			ムネアカタヒバリ	<i>Anthus cervinus</i>				○
237			タヒバリ	<i>Anthus rubescens</i>				○
238	アトリ		アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i>				○
239			カワラヒワ	<i>Chloris sinica</i>				○
240			マヒワ	<i>Carduelis spinus</i>	○	○	○	○
241			ベニヒワ	<i>Carduelis flammea</i>				○
242			ベニマシコ	<i>Uragus sibiricus</i>				○
243			アカマシコ	<i>Carpodacus erythrinus</i>				○
244			オオマシコ	<i>Carpodacus roseus</i>				○
245			ウソ	<i>Pyrrhula pyrrhula</i>				○
246			シメ	<i>Coccothraustes coccothraustes</i>				○
247			コイカル	<i>Eophona migratoria</i>				○
248			イカル	<i>Eophona personata</i>				○
249	ツメナガホオジロ	ツメナガホオジロ	<i>Calcarius lapponicus</i>				○	
250	ホオジロ	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>				○	

表 8-1 (6) 現地調査・文献調査の鳥類確認種(6/6)

No.	目名	科名	種名	学名	現地調査			文献調査
					繁殖期	秋期	越冬期	
251	スズメ	ホオジロ	ホオアカ	<i>Emberiza fucata</i>	○	○	○	○
252			コホオアカ	<i>Emberiza pusilla</i>				○
253			カシラダカ	<i>Emberiza rustica</i>				○
254			ミヤマホオジロ	<i>Emberiza elegans</i>			○	○
255			ノジコ	<i>Emberiza sulphurata</i>				○
256			アオジ	<i>Emberiza spodocephala</i>				○
257			クロジ	<i>Emberiza variabilis</i>			○	○
258			シベリアジュリン	<i>Emberiza pallasii</i>				○
259			コジュリン	<i>Emberiza yessoensis</i>				○
260			オオジュリン	<i>Emberiza schoeniclus</i>				○
261			(キジ)	(キジ)	コジュケイ	<i>Bambusicola thoracicus</i>		
262	(ハト)	(ハト)	カワラバト(ドバト)	<i>Columba livia</i>		○		○
263	(カモ)	(カモ)	コブハクチョウ	<i>Cygnus olor</i>	○	○	○	○
264			アイガモ	<i>Anas platyrhynchos var.domesticus</i>				○
265			アヒル	<i>Anas platyrhynchos var.domesticus</i>				○
266	コウノトリ	コウノトリ	コウノトリ	<i>Ciconia boyciana</i>				○
267	(スズメ)	(ヒヨドリ)	シロガシラ	<i>Pycnonotus sinensis</i>				○
268		チメドリ	ソウシチョウ	<i>Leiothrix lutea</i>				○
269		(ムクドリ)	ハッカチョウ	<i>Acridotheres cristatellus</i>	○	○	○	○
270		ハタオリドリ	オオキンランチョウ	<i>Euplectes orix</i>				○
271		カエデチョウ	ベニスズメ	<i>Amandava amandava</i>				○
272			ギンパラ	<i>Lonchura malacca</i>				○
273			キンパラ	<i>Lonchura atricapilla</i>				○
274			ヘキチョウ	<i>Lonchura maja</i>				○
275			ブンチョウ	<i>Lonchura oryzivora</i>				○
計	20 目	58 科	275 種		38 種	41 種	58 種	275 種

・分類及び配列は「日本鳥類目録 改訂第7版」(2012年, 日本鳥学会)に従った。

表 8-2 現地調査・文献調査の哺乳類確認種

No.	目名	科名	種名	学名	現地調査			文献調査
					繁殖期	秋期	越冬期	
1	モグラ	モグラ	コウベモグラ	<i>Mogera wogura</i>				○
-			モグラ属の一種	<i>Mogera sp.</i>				○
2	コウモリ	ヒナコウモリ	アブラコウモリ	<i>Pipistrellus abramus</i>				○
-			ヒナコウモリ科の一種	<i>Vespertilionidae sp.</i>				○
3	ネコ	イヌ	キツネ	<i>Vulpes vulpes</i>				○
4			タヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides</i>				○
5			ノイヌ	<i>Canis lupus familiaris</i>				○
6		アライグマ	アライグマ	<i>Procyon lotor</i>				○
-			アライグマ属の一種	<i>Procyon sp.</i>				○
7		イタチ	ニホンテン	<i>Martes melampus</i>				○
8			シベリアイタチ	<i>Mustela sibirica</i>		○		
9			イタチ属の一種	<i>Mustela sp.</i>				○
10		ジャコウネコ	ハクビシン	<i>Paguma larvata</i>				○
11		ネコ	ネコ	<i>Felis catus</i>	○			
12	ネズミ	ネズミ	カヤネズミ	<i>Micromys minutus</i>	○		○	○
13			アカネズミ	<i>Apodemus speciosus</i>				○
14			ドブネズミ	<i>Rattus norvegicus</i>				○
15			ハツカネズミ	<i>Mus musculus</i>				○
16		ヌートリア	ヌートリア	<i>Myocastor coypus</i>	○			○
	4目	9科	16種		3種	1種	1種	14種

※モグラ属の一種、ヒナコウモリ科の一種、アライグマ属の一種は、同属の識別された種と同種の可能性があるため、種数として計上していない。イタチ属の一種は同属には確認された種がなく、1種として扱う。

表 8-3 (1) 現地調査・文献調査の鳥類重要種(1/2)

No.	目名	科名	種名	学名	現地調査			文献調査	種の保存法	環境省 RL	大阪府 RL		
					繁殖期	秋期	越冬期						
1	キジ	キジ	ウズラ	<i>Coturnix japonica</i>				○		VU	CR+EN		
2	カモ	カモ	ヒシクイ	<i>Anser fabalis</i>				○		VU			
3			マガン	<i>Anser albifrons</i>				○		NT			
4			コクガン	<i>Branta bernicla</i>				○		VU			
5			ツクシガモ	<i>Tadorna tadorna</i>				○		VU			
6			オシドリ	<i>Aix galericulata</i>				○		DD			
7			トモエガモ	<i>Anas formosa</i>				○		VU			
8			アカハジロ	<i>Aythya baeri</i>				○		DD			
9			ウミアイサ	<i>Mergus serrator</i>				○			NT		
10			カツオドリ	カツオドリ	アカアシカツオドリ	<i>Sula sula</i>				○		EN	
11	ペリカン	サギ	サンカノゴイ	<i>Botaurus stellaris</i>				○		EN			
12			ヨシゴイ	<i>Ixobrychus sinensis</i>				○		NT	VU		
13			ミゾゴイ	<i>Gorsachius goisagi</i>				○		VU	VU		
14			アマサギ	<i>Bubulcus ibis</i>				○			VU		
15			チュウサギ	<i>Egretta intermedia</i>				○		NT			
16			カラシラサギ	<i>Egretta eulophotes</i>				○		NT			
17			トキ	ヘラサギ	<i>Platalea leucorodia</i>				○		DD		
18				クロツラヘラサギ	<i>Platalea minor</i>				○	○	EN		
19			ツル	クイナ	クイナ	<i>Rallus aquaticus</i>				○			NT
20	ヒクイナ	<i>Porzana fusca</i>			○		○	○		NT	VU		
21	カッコウ	カッコウ	ツツドリ	<i>Cuculus optatus</i>				○			NT		
22	ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ	<i>Caprimulgus indicus</i>				○		NT	VU		
23	チドリ	チドリ	タゲリ	<i>Vanellus vanellus</i>				○			NT		
24			ケリ	<i>Vanellus cinereus</i>			○	○		DD	NT		
25			ムナグロ	<i>Phuivialis fulva</i>				○			VU		
26			ダイゼン	<i>Phuivialis squatarola</i>				○			VU		
27			イカルチドリ	<i>Charadrius placidus</i>	○			○			VU		
28			コチドリ	<i>Charadrius dubius</i>	○			○			NT		
29			シロチドリ	<i>Charadrius alexandrinus</i>				○			VU	VU	
30			メダイチドリ	<i>Charadrius mongolus</i>				○				VU	
31			セイタカシギ	セイタカシギ	<i>Himantopus himantopus</i>				○			VU	
32				オオジシギ	<i>Gallinago hardwickii</i>				○			NT	NT
33				チュウジシギ	<i>Gallinago megala</i>				○				NT
34				タシギ	<i>Gallinago gallinago</i>				○				NT
35				オグロシギ	<i>Limosa limosa</i>				○				NT
36				オオソリハシシギ	<i>Limosa lapponica</i>				○			VU	VU
37				コシャクシギ	<i>Numenius minutus</i>				○			EN	
38		チュウシャクシギ		<i>Numenius phaeopus</i>				○				NT	
39		ダイシャクシギ		<i>Numenius arquata</i>				○				NT	
40		ホウロクシギ		<i>Numenius madagascariensis</i>				○			VU	NT	
41		ツルシギ		<i>Tringa erythropus</i>				○			VU	VU	
42		アオアシシギ		<i>Tringa nebularia</i>				○				VU	
43		クサシギ		<i>Tringa ochropus</i>				○				NT	
44		タカブシギ		<i>Tringa glareola</i>				○			VU	VU	
45		キアシシギ		<i>Heteroscelus brevipes</i>				○				NT	
46		ソリハシシギ		<i>Xenus cinereus</i>				○				VU	
47		イソシギ		<i>Actitis hypoleucos</i>			○	○	○			NT	
48		キョウジョシギ		<i>Arenaria interpres</i>				○				VU	
49		オバシギ	<i>Calidris tenuirostris</i>				○				VU		
50		コオバシギ	<i>Calidris canutus</i>				○				NT		
51		ミュビシギ	<i>Calidris alba</i>				○				NT		
52		トウネン	<i>Calidris ruficollis</i>				○				NT		
53		ウズラシギ	<i>Calidris acuminata</i>				○				VU		
54		サルハマシギ	<i>Calidris ferruginea</i>				○				NT		
55		ハマシギ	<i>Calidris alpina</i>				○				NT		
56	キリアイ	<i>Limicola falcinellus</i>				○				NT			
57	ツバメチドリ	ツバメチドリ	ツバメチドリ	<i>Glareola maldivarum</i>				○		VU	CR+EN		
58	カモメ	カモメ	ズグロカモメ	<i>Larus saundersi</i>				○		VU	NT		
59			コアシサシ	<i>Sterna albifrons</i>				○		VU	CR+EN		
60	タカ	ミサゴ	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>		○	○	○		NT			
61		タカ	ハチクマ	<i>Pernis ptilorhynchus</i>				○		NT	CR+EN		
62			チュウヒ	<i>Circus spilonotus</i>				○	○	EN	CR+EN		
63			ハイイロチュウヒ	<i>Circus cyaneus</i>				○			NT		
64			ツミ	<i>Accipiter gularis</i>				○			VU		
65			ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i>				○	○		NT		

表 8-3 (2) 現地調査・文献調査の鳥類重要種(2/2)

No.	目名	科名	種名	学名	現地調査			文献調査	種の保存法	環境省 RL	大阪府 RL
					繁殖期	秋期	越冬期				
66	タカ	タカ	オオタカ	<i>Accipiter gentilis</i>		○	○	○		NT	NT
67			サシバ	<i>Butastur indicus</i>				○		VU	CR+EN
68			ノスリ	<i>Buteo buteo</i>			○	○			NT
69	フクロウ	フクロウ	オオコノハズク	<i>Otus lempiji</i>				○			DD
70			フクロウ	<i>Strix uralensis</i>				○			NT
71			アオバズク	<i>Ninox scutulata</i>				○			VU
72			トラフズク	<i>Asio otus</i>				○			VU
73			コミミズク	<i>Asio flammeus</i>				○			VU
74	ブヨウソウ	カワセミ	ヤマセミ	<i>Megaceryle lugubris</i>				○			NT
75	ハヤブサ	ハヤブサ	コチョウゲンボウ	<i>Falco columbarius</i>				○			NT
76			ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i>	○	○		○	○	VU	
77	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ	<i>Pericrocotus divaricatus</i>				○		VU	VU
78		モズ	チゴモズ	<i>Lanius tigrinus</i>				○		CR	
79			アカモズ	<i>Lanius cristatus</i>				○	○	EN	
80		ヒバリ	ヒバリ	<i>Alauda arvensis</i>	○	○	○	○			NT
81		ツバメ	コシアカツバメ	<i>Hirundo daurica</i>	○		○	○			NT
82		ムシクイ	オオムシクイ	<i>Phylloscopus examinandus</i>		○		○		DD	
83			センダイムシクイ	<i>Phylloscopus coronatus</i>				○			NT
84		センニュウ	マキノセンニュウ	<i>Locustella lanceolata</i>				○		NT	
85		ヨシキリ	オオヨシキリ	<i>Acrocephalus orientalis</i>	○			○			NT
86		セッカ	セッカ	<i>Cisticola juncidis</i>	○	○		○			NT
87		ゴジュウカラ	ゴジュウカラ	<i>Sitta europaea</i>				○			NT
88		ヒタキ	トラツグミ	<i>Zoothera dauma</i>				○			NT
89			コサメビタキ	<i>Muscicapa dauurica</i>		○		○			VU
90		ホオジロ	ホオアカ	<i>Emberiza fucata</i>				○			NT
91			カシラダカ	<i>Emberiza rustica</i>			○	○			NT
92			ミヤマホオジロ	<i>Emberiza elegans</i>				○			NT
93			ノジコ	<i>Emberiza sulphurata</i>				○		NT	
94			コジュリン	<i>Emberiza yessoensis</i>				○		VU	
95			オオジュリン	<i>Emberiza schoeniclus</i>			○	○			NT
96	コウノトリ	コウノトリ	コウノトリ	<i>Ciconia boyciana</i>				○	○	CR	
計	13 目	30 科		96 種	8 種	8 種	11 種	96 種	5 種	46 種	70 種

CR+EN：絶滅危惧 I 類 絶滅の危機に瀕している種
 VU：絶滅危惧 II 類 絶滅の危険が増大している種
 NT：準絶滅危惧種 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては絶滅危惧に移行する可能性のある種
 DD：情報不足 評価するだけの情報が不足している種

表 8-4 現地調査・文献調査の哺乳類重要種

No.	目名	科名	種名	学名	現地調査			文献調査	種の保存法	環境省 RL	大阪府 RL
					繁殖期	秋期	越冬期				
1	ネズミ	ネズミ	カヤネズミ	<i>Micromys minutus</i>	○		○	○			NT
2	ネコ	イヌ	キツネ	<i>Vulpes vulpes</i>				○			CR+EN
計	1 目	1 科		1 種	1 種	0 種	1 種	2 種	0 種	0 種	2 種

CR+EN：絶滅危惧 I 類 絶滅の危機に瀕している種
 NT：準絶滅危惧種 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては絶滅危惧に移行する可能性のある種

9. 参考文献

1. 「環境省レッドリスト 2020」(2020年, 環境省)
2. 「大阪府レッドリスト 2014」(2014年, 大阪府)
3. 「「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律施行令の一部を改正する政令」の閣議決定について」(2019年1月, 環境省報道発表資料)
4. 「大阪府鳥類目録 2016」(2016年, 日本野鳥の会大阪支部)
5. 「日本鳥類目録 改訂第7版」(2012年, 日本鳥学会)
6. 「淀川鳥獣保護区 鳥獣保護区指定調査報告書」(2012年, 大阪府)
7. 「淀川河川水辺の国勢調査(鳥類) 業務報告書」(2017年, いであ株式会社)
8. 「令和3年度 淀川河川水辺の国勢調査(両生類他) 業務報告書」(2022年, 株式会社ニュージェック)
9. 「淀川汽水域干潟現況調査業務報告書(公開用)」(2022年, 八千代エンジニアリング株式会社)
10. 「枚方ふるさといきもの調査報告書」(2019年, 枚方市)
11. 「枚方市野鳥目録 淀川の野鳥の記録 2007-2021」(2022年, 枚方野鳥の会)
12. 「2021年度 枚方いきもの調査会 調査報告書第20号」(2022年, 枚方いきもの調査会)
13. 「定例探鳥会の観察記録」(日本野鳥の会大阪支部ホームページ
<https://wbsjosaka.com/bird/regular-records/>)
14. 「淀川河川公園整備・管理運営プログラム」(2021年, 国土交通省近畿地方整備局
https://www.kkr.mlit.go.jp/yodogawa/use/park/bd083b0000005njp-att/program_202106.pdf)
15. 「日本の哺乳類 改定2版」(2008年, 東海大学出版会)